

文教委員会資料

2 所管事務の調査（報告）

(3) 「(仮称) 第3期川崎市こども・若者の未来応援プラン」策定方針について

資料 「(仮称) 第3期川崎市こども・若者の未来応援プラン」策定方針

こども未来局

(令和7年5月29日)

「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」策定方針

1 背景・計画策定の趣旨

▶ 子ども・若者や子育て家庭を取り巻く環境の急速な変化

（少子高齢化の進展や核家族化、人口減少社会到来等の社会状況の変化、若い子育て世代の流入、共働き世帯の増加など）

▶ 児童虐待、いじめ、不登校やニート・ひきこり、非行、犯罪被害、ヤングケアラーなど困難を抱える子ども・若者や、子育てに不安や負担を感じる家庭が増加しており、子ども・若者や子育て家庭が孤立しないように、地域が寄り添い、安全・安心に暮らせるまちづくりが求められる

▶ 子ども基本法の施行、子ども施策を総合的に推進するための子ども大綱が策定され、国が掲げる全ての子ども・若者が、将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会である「子どもまんなか社会」の実現を目指し、子ども等の意見の反映、市町村子ども計画の策定などが求められる

子育て世帯が抱える“不安感”や“負担感”を踏まえ、子育てに見通しと安心感をもてるよう、教育分野、関連する他分野の行政計画や施策と連携しながら、対応すべき課題と取り組むべき施策を整理し、子ども・若者への支援や子育て支援を総合的に推進するため、市民にわかりやすく、伝わりやすい計画として、

「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」を策定する

2 名称

「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」

「子ども」の表記について、国の通知（「子ども」表記の推奨について（依頼））に基づき、平仮名表記の「子ども」を用いる。

「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」策定方針

3 構成等

概ね、次の内容を記載する方向で策定作業を推進

- (1) 総論（策定の背景・趣旨、計画の位置づけ、構成、計画の期間、対象、本市の社会状況、子ども・若者や子育て家庭を取り巻く状況、基本理念・基本的な視点・施策の方向性など）
- (2) 各論（施策の展開、各種計画の量の見込みと確保方策、計画の進行管理など）

計画の位置づけ

- ・ 子ども施策に関する各種計画の基本理念や基本的な考え方を継承しつつ、「川崎市総合計画第4期実施計画」との整合性を図りながら、「かわさき教育プラン」をはじめとした、子ども施策に関連する分野別計画と連携し、**本市の子ども施策全体が把握できる計画**とする
- ・ 令和5年度に閣議決定された国の「**こども大綱**」を踏まえた「**川崎市子ども計画**」として策定する

計画の期間

- ・ 「川崎市総合計画第4期実施計画」との整合性を図るため、**令和8（2026）年度から令和11（2029）年度までの4年間**とする
- ・ 令和6年度に第6章改定版として策定した子ども・子育て支援法に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」については、計画期間が同じ令和11（2029）年度までであることをふまえ、乳児等通園支援事業等の項目追加など必要な時点更新を行う

次期プランにおいて重点的に取り組むことが必要と考えられる事項

ア 地域社会全体で子育てを応援する環境づくり

- ✓ 周産期～就学前～学齢期を通じ、ライフステージに応じた支援策等の効果的な情報発信
- ✓ DXを活用した利便性向上や、地域社会全体で子育てを応援するしくみづくりの推進

イ 子ども・若者が自分らしくすこやかに成長できる環境づくり

- ✓ こども基本法やこども大綱を踏まえた子ども・若者の意見聴取等の取組の推進
- ✓ こどもがすこやかに成長するためのこどもの発達段階に応じた居場所づくりの推進

ウ 安全・安心に子育てできる環境づくり

- ✓ 子ども・若者や子育て世帯が抱える不安や課題に早期に対応するための関係機関連携・支援体制の強化
- ✓ 子ども・若者を取り巻く個別課題（こどもの貧困・児童虐待・困難を抱える子ども・若者など）への的確な対応

「（仮称）第3期川崎市こども・若者の未来応援プラン」策定方針

4 包含予定の各種計画

包含する計画の名称	計画の概要	計画の根拠等	策定指針等
市町村こども計画	こども大綱・都道府県こども計画を勘案して作成する計画	こども基本法 第 10 条	こども大綱
子ども・若者計画	総合的な子ども・若者育成支援施策を推進するための計画	子ども・若者育成支援推進法第9条第2項	子供・若者育成支援推進大綱（こども大綱に一元化）
次世代育成支援対策行動計画	次世代育成支援対策を総合的に推進するための計画	次世代育成支援対策推進法 第 8 条	次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画策定指針
子どもの貧困対策推進計画	子どもの貧困対策を総合的に推進するための計画	子どもの貧困対策の推進に関する法律第10条第2項	子供の貧困対策に関する大綱（こども大綱に一元化）
子ども・子育て支援事業計画	子ども・子育て支援給付及び地域子ども子育て支援事業を総合的に進めるための計画	子ども・子育て支援法第61条第1項	教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付並びに地域子ども・子育て支援事業及び仕事・子育て両立支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針（平成 26年内閣府告示第 159 号）
ひとり親家庭等自立促進計画	ひとり親家庭等の生活の安定と向上のための施策を総合的に推進するための計画	母子及び父子並びに寡婦福祉法第12条第1項	母子家庭等及び寡婦の生活の安定と向上のための措置に関する基本的な方針
保育所等整備計画	乳児・幼児に対し、必要な保育を確保するための保育所等の整備計画	児童福祉法第56条の4の2	
成育医療等に関する計画	妊産婦を含めた成育過程にある者等に対して横断的な視点での総合的な取組を推進するための計画	成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律	成育医療等基本方針に基づく計画策定指針 成育医療等基本方針に基づく評価指標
児童家庭支援・児童虐待対策事業推進計画	児童家庭支援・児童虐待対策を強化充実し、「虐待のないまちづくり」を推進するための計画	川崎市子どもを虐待から守る条例	
社会的養育推進計画	子どもの最善の利益の実現に向けた、社会的養育を推進するための計画	「都道府県社会的養育推進計画」の策定について（平成30年7月6日付厚生労働省通知、子発0706第1号）	
放課後児童対策パッケージ	放課後児童クラブと放課後子供教室の両事業の計画的な整備等を推進するための計画	「新・放課後子ども総合プラン」について（平成30年9月14日付文部科学省・厚生労働省通知、30文科生第396号・子発0914第1号）	

「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」策定方針

5 策定推進体制

（1）川崎市子ども施策庁内推進本部会議（庁内）

「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」の策定に関する事項は、子ども・子育て支援に関する各種施策を総合的に推進するため、市長を議長として関係局で構成した「子ども施策庁内推進本部会議」において策定を進める

（2）審議会からの意見聴取及び助言

「川崎市子ども・子育て会議条例」で「市町村子ども・子育て支援事業計画」に関する事項は、「子ども・子育て会議」の所掌となっているほか、これまでも子ども施策の推進に関する事項については、「子ども・子育て会議」から意見や助言をいただきながら、施策を推進してきたことから、「子ども・子育て会議」からの意見等を踏まえて策定を進めることとする。

6 スケジュール

R6.11月	子ども・若者調査開始
R7.4月	文教委員会報告（子ども・若者調査結果） 子ども・若者調査集計結果公表
5月	文教委員会報告（子ども・若者の未来応援プラン策定方針） 「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン策定方針」の策定
8月	「子ども・若者の未来応援プラン」の年度評価（令和6年度）公表
11月	文教委員会報告（子ども・若者の未来応援プラン素案、パブリックコメント） 「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン素案」の策定・公表
11月下旬 ～ 12月下旬	素案パブリックコメントの実施
2月	文教委員会報告（パブリックコメント結果、子ども・若者の未来応援プラン案） 「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン案」の公表
3月	「（仮称）第3期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」の策定・公表

令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

1 本資料の趣旨

令和6年度に実施した「川崎市子ども・若者調査」では、保護者（未就学児、小学校2年生・小学校5年生・中学校2年生）及び子ども・若者（小学校5年生・中学校2年生・16～30歳）を対象に調査を実施し、子育て世帯の概況や子育てに関する心配ごと・悩み、子ども・若者の生活状況等、幅広い項目についての結果を得た。

今後の「（仮称）第3期川崎市こども・若者の未来応援プラン」の策定作業に向けて、多岐にわたる調査結果から全体の状況や傾向等を捉えることができるよう情報を整理したものの。

2 各調査項目の概況

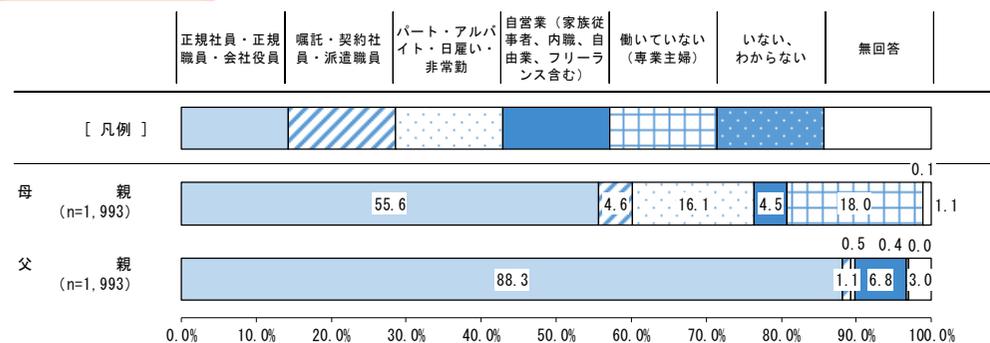
（1）子育て世帯の概況

※「分類Ⅰ」…等価可処分所得が貧困線(127万円)未満の世帯
 ※「分類Ⅱ」…貧困線以上等価可処分所得の中央値(254万円)未満の世帯
 ※「分類Ⅲ」…中央値以上の等価可処分所得の世帯

- 『母親』就労状況では「正規社員・正規職員・会社役員」がいずれの年齢でも前回調査より高い。
- 世帯の所得分類は、「分類Ⅲ」はいずれの年齢でも前回調査より高い。
- 「1日に3食食べるために必要とする食料が買えなかった経験」等について、所得分類別では『分類Ⅰ』『分類Ⅱ』が、世帯構成別ではひとり親核家族の世帯が前回調査より高い。

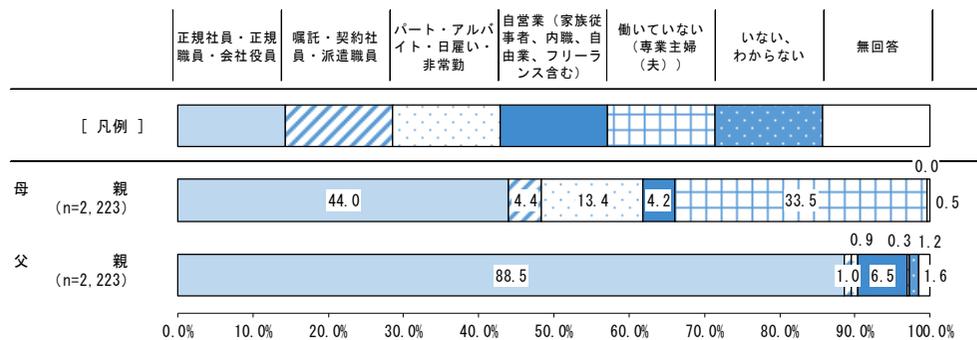
0～6歳の保護者

<今回調査> 【図表 2-26 保護者の就労状況】



0～6歳の保護者

<前回調査> 【図表 2-27 保護者の就労状況】

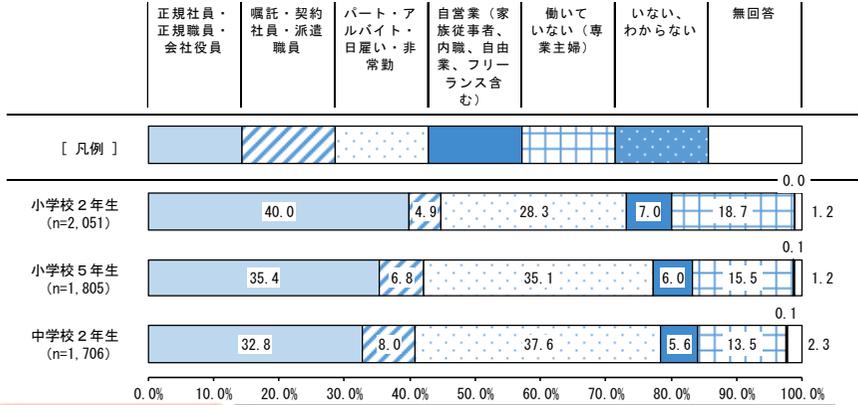


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(1) 子育て世帯の概況

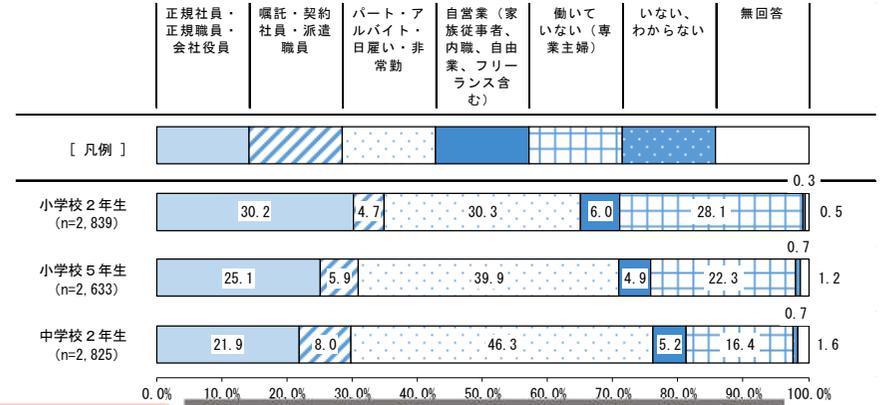
小・中学生の保護者

<今回調査> 【図表 3-47 母親の就労状況】



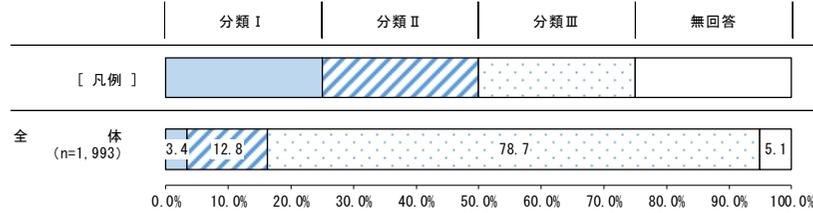
小・中学生の保護者

<前回調査> 【図表 3-48 母親の就労状況】



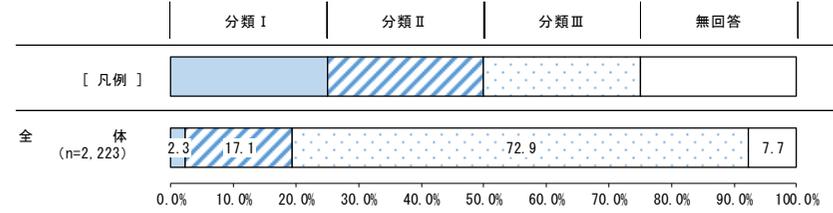
0～6歳の保護者

<今回調査> 【図表 2-39 所得分類】



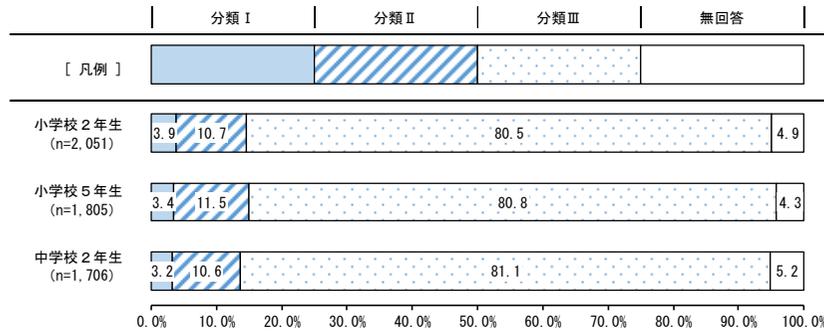
0～6歳の保護者

<前回調査> 【図表 2-40 所得分類】



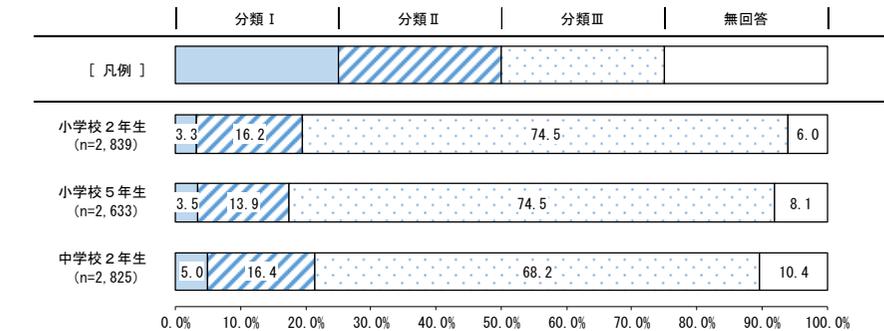
小・中学生の保護者

<今回調査> 【図表 3-75 所得分類】



小・中学生の保護者

<前回調査> 【図表 3-76 所得分類】

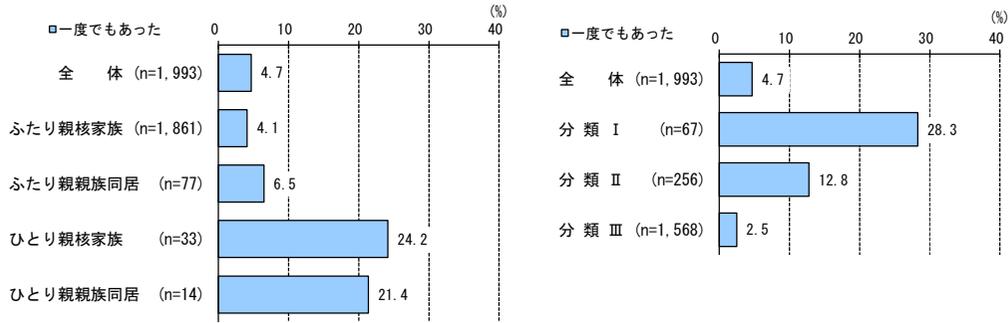


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(1) 子育て世帯の概況

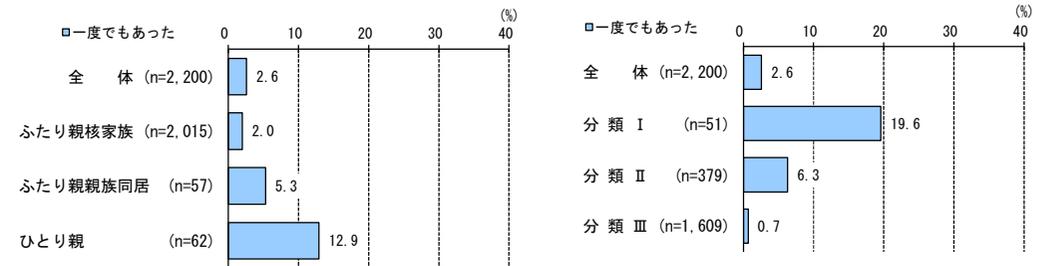
0～6歳の保護者

＜今回調査＞【図表 2-60 (ア) 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】



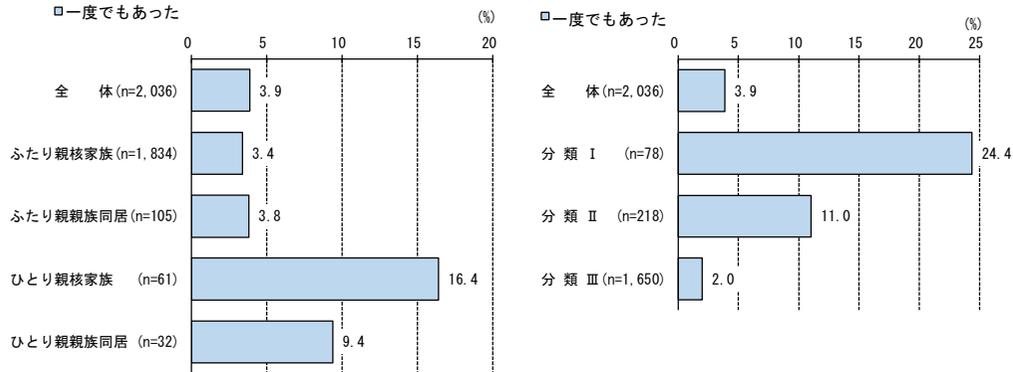
0～6歳の保護者

＜前回調査＞【図表 2-61 (ア) 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】



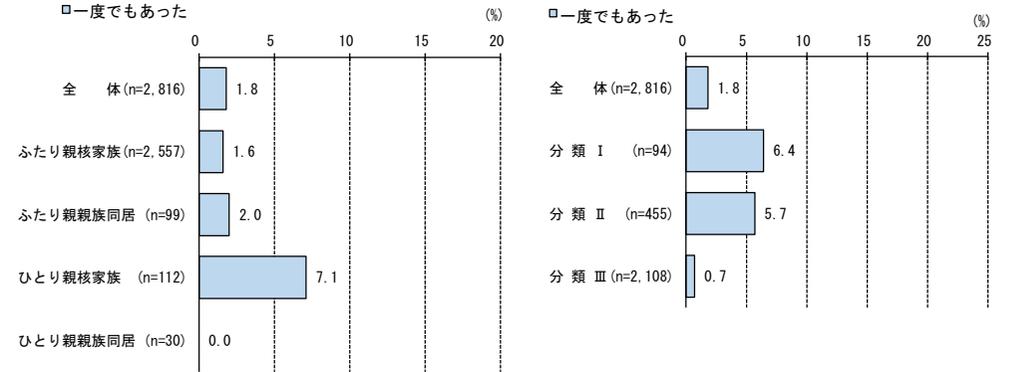
小2の保護者

＜今回調査＞【図表 3-130 (ア) 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】



小2の保護者

＜前回調査＞【図表 3-131 (ア) 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】

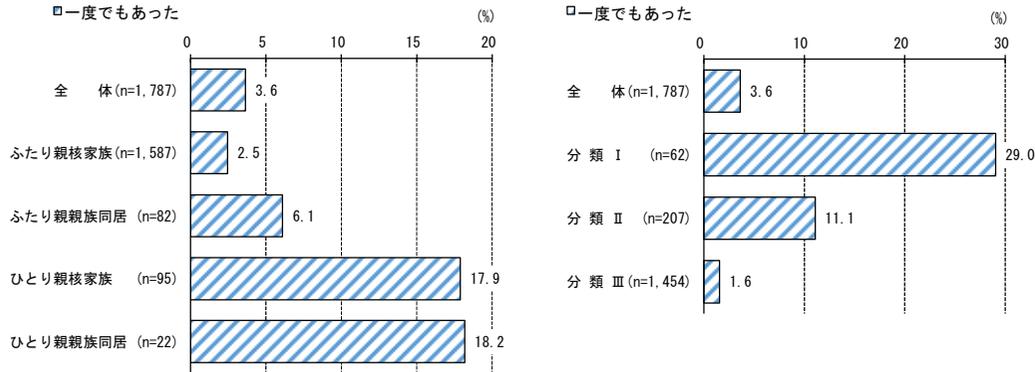


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(1) 子育て世帯の概況

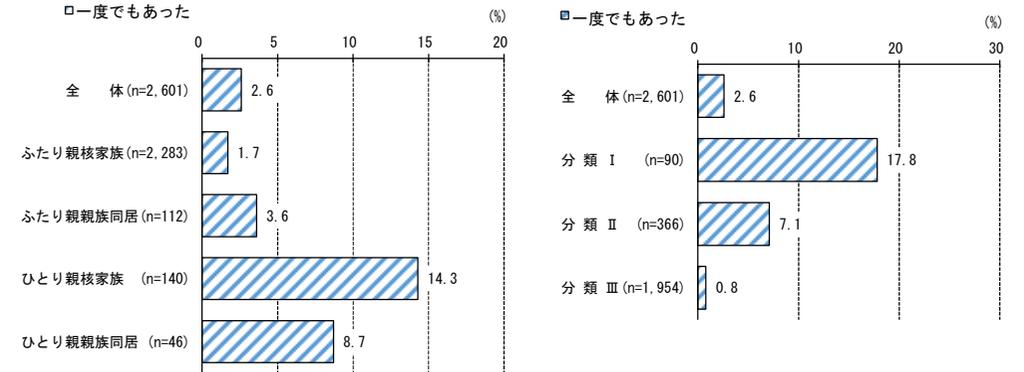
小5の保護者

＜今回調査＞【図表 3-138 (ア) 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】



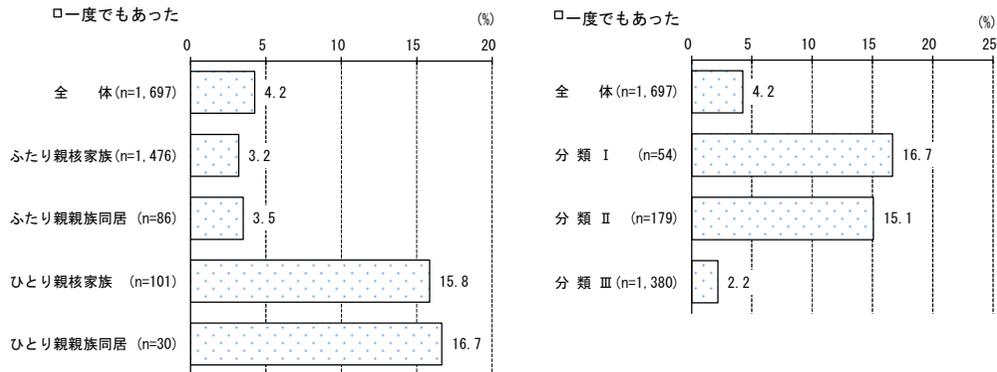
小5の保護者

＜前回調査＞【図表 3-139 (ア) 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】



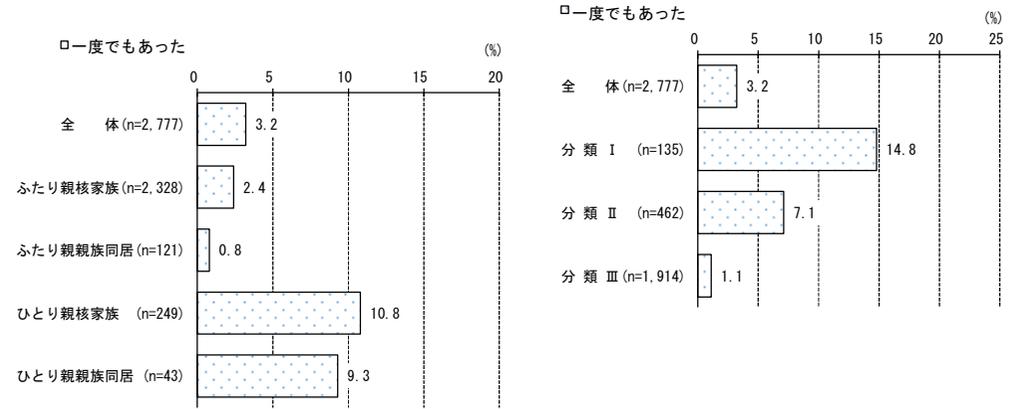
中2の保護者

＜今回調査＞【図表 3-146 (ア) 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】



中2の保護者

＜前回調査＞【図表 3-147 (ア) 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】

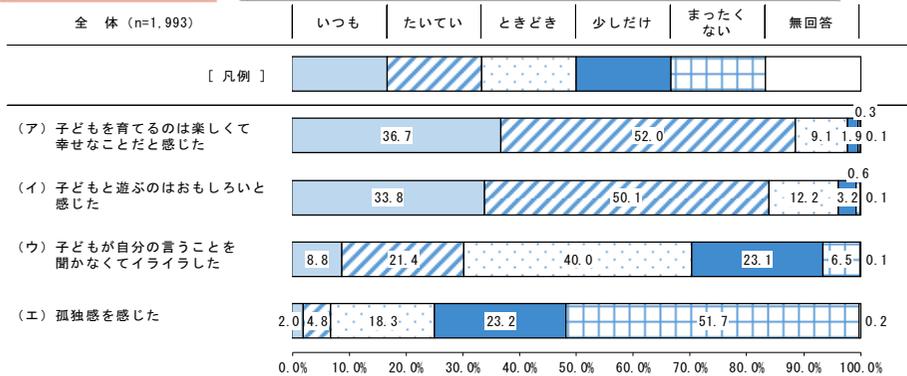


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

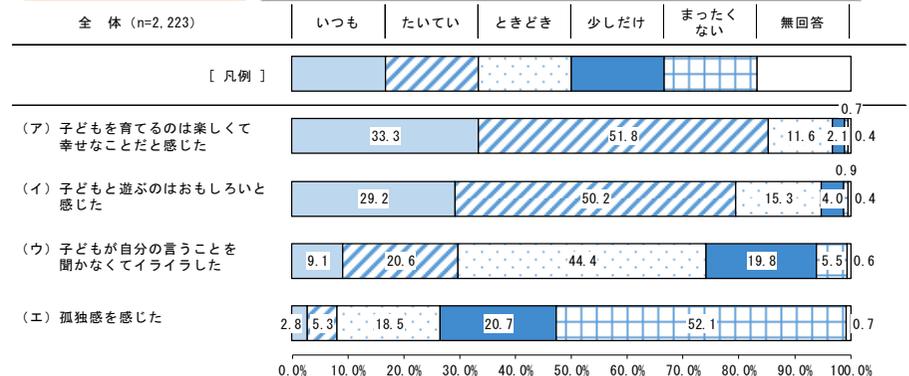
(2) 保護者の状況（子育てに関する感情、新たに子どもを持つ意向）

- 子育てに関する感情は、「いつも」は『子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと感じた』が最も高く、次いで『子どもと遊ぶのはおもしろいと感じた』となっている。
- 「新たに子どもを持ちたい」は36.5%で、前回調査より高い。
- 「新たに子どもを持ちたいと思わない理由」は、「子育てのためのお金がないため」「今の子育てで手がいっぱい、これ以上、子育てに時間が割けないため」「子育てと仕事の両立で心身の負担が大きいため」が高く、「子育てのためのお金がないため」「残業が多いなど、仕事が忙しいため」が前回調査より高い。

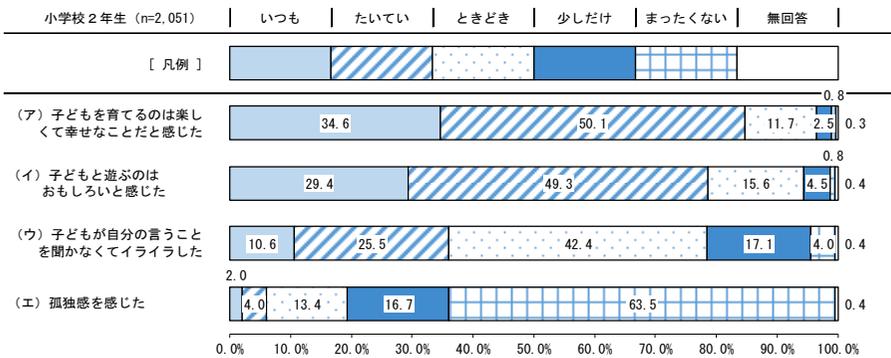
0～6歳の保護者 <今回調査>【図表 2-84 子育てに関する感情】



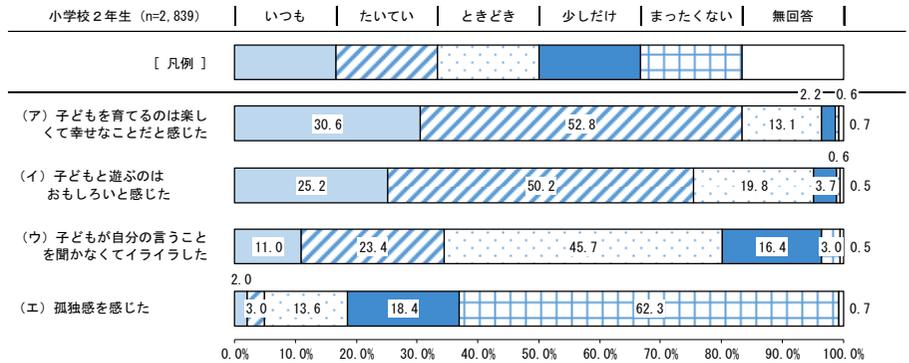
0～6歳の保護者 <前回調査>【図表 2-85 子育てに関する感情】



小2の保護者 <今回調査>【図表 3-182 子育てに関する感情】



小2の保護者 <前回調査>【図表 3-183 子育てに関する感情】

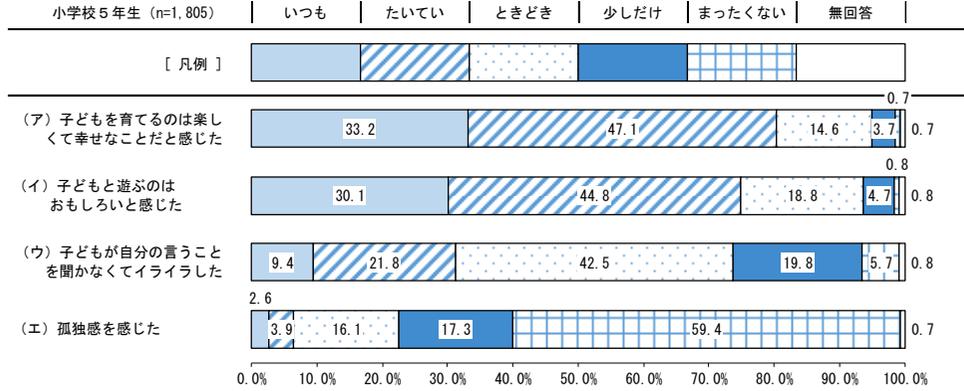


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(2) 保護者の状況（子育てに関する感情、新たに子どもを持つ意向）

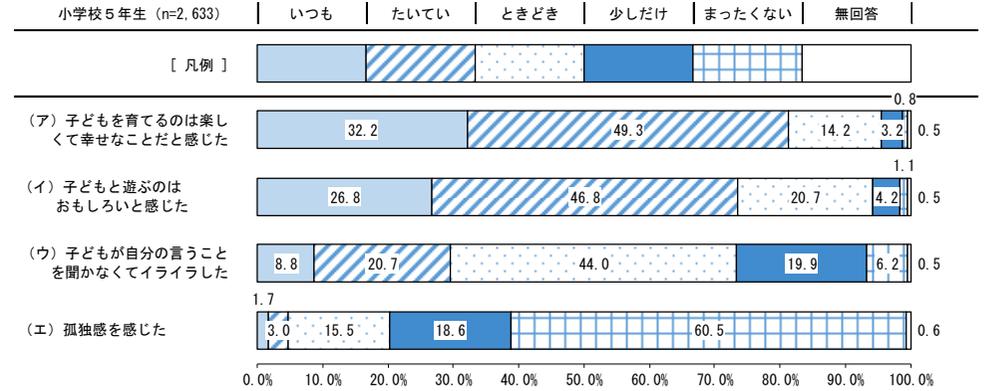
小5の保護者

<今回調査>【図表 3-184 子育てに関する感情】



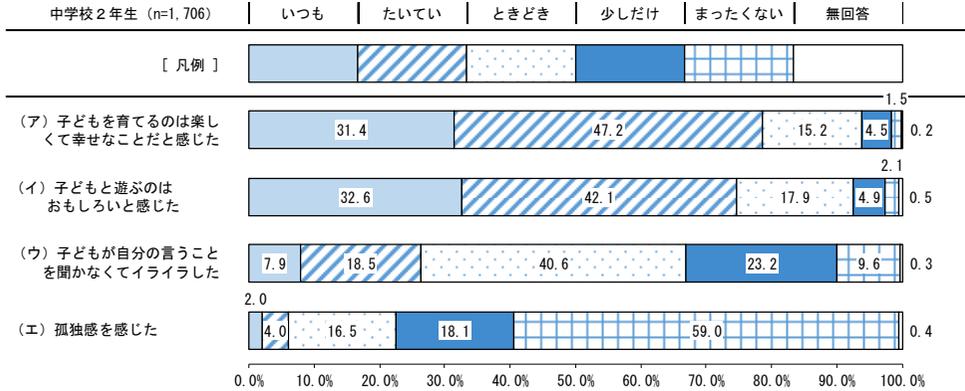
小5の保護者

<前回調査>【図表 3-185 子育てに関する感情】



中2の保護者

<今回調査>【図表 3-186 子育てに関する感情】

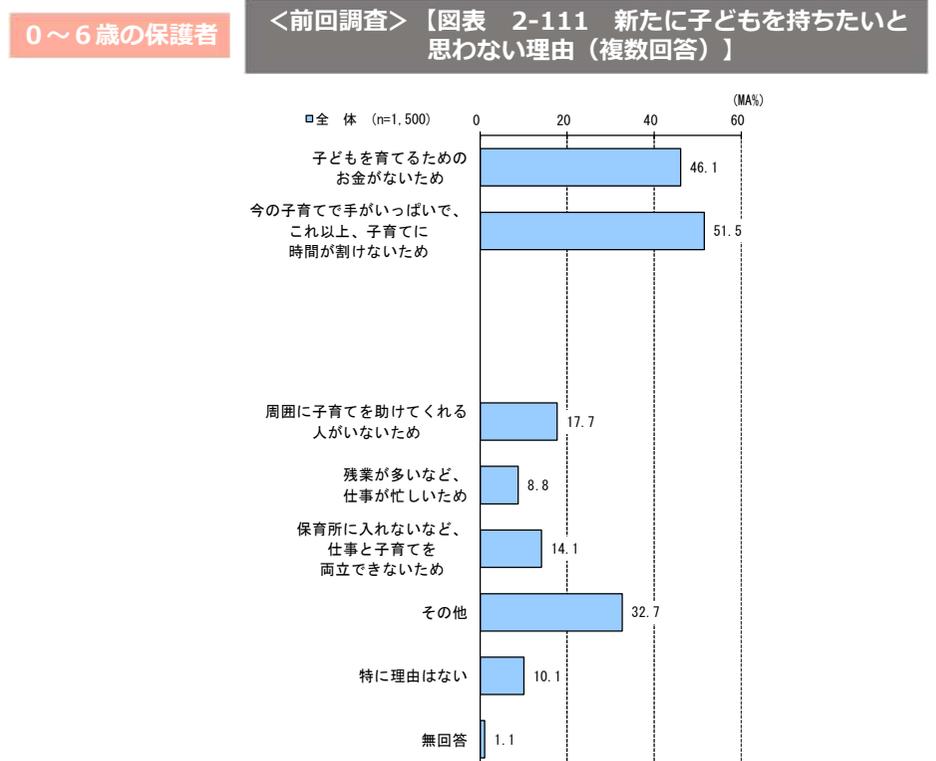
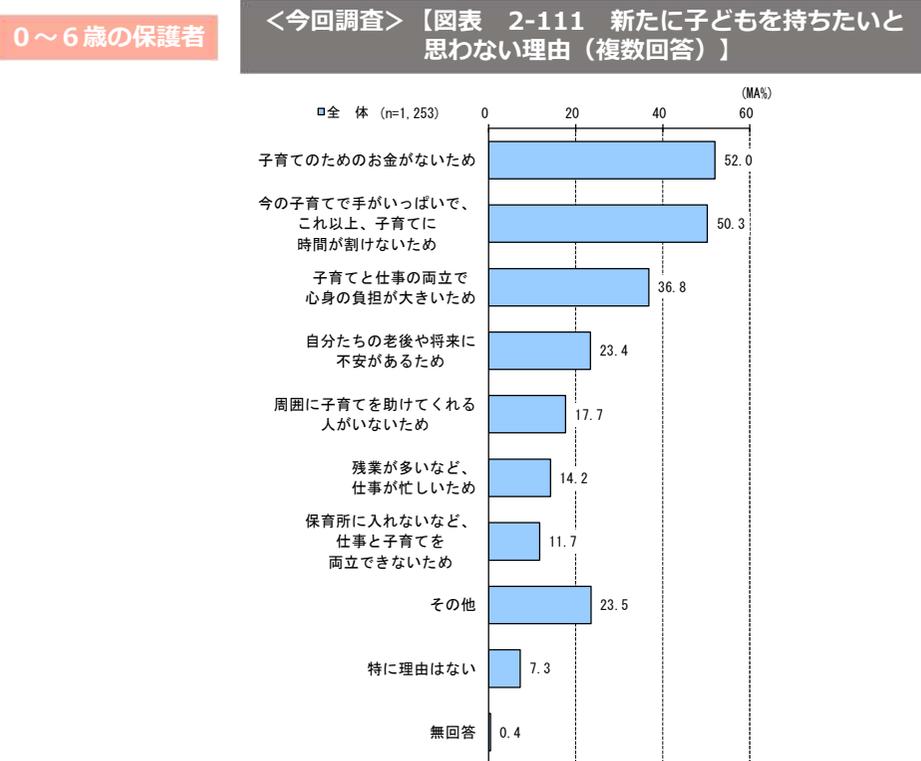
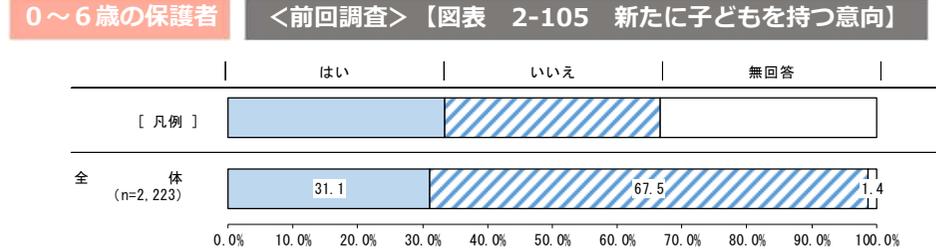
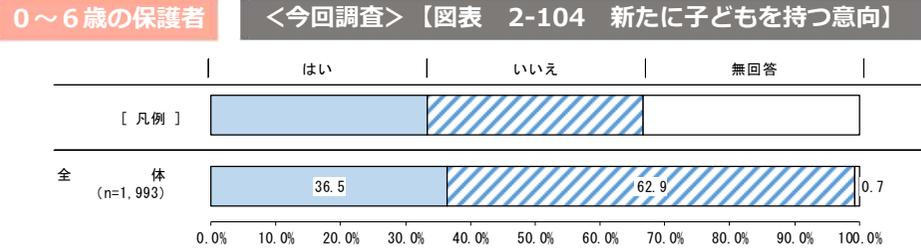


中2の保護者

<前回調査>なし

令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(2) 保護者の状況（子育てに関する感情、新たに子どもを持つ意向）



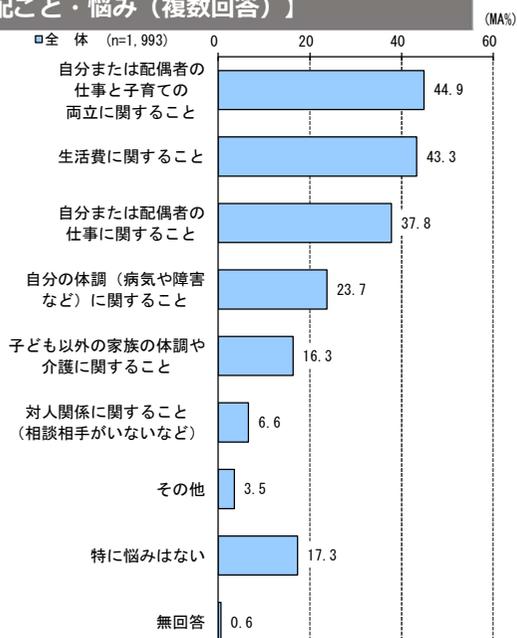
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

- 「保護者自身の生活に関する心配ごと・悩み」は、未就学～小学校低学年は「自分または配偶者の仕事と子育ての両立に関すること」が高く、「生活費に関すること」も各年齢で高い。
- 「子どもや子育てに関する心配ごと・悩み」は、「子どもの生活習慣や発達、体調に関すること」「子育てに必要な費用に関すること」が各年齢で高く、このほか未就学児では「子育て環境に関すること」、学齢期では「子どもとの関わり方に関すること」「学習・進学・受験に関すること」「友人関係に関すること」も高い。
- 「子どもの生活習慣や発達、体調に関すること」に心配ごと等をもつ方からは、各年齢で「子どもに基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など）が身につけていない」が高く、このほか未就学では「子どもに与える食事のこと」、学齢期では「自立した生活ができるか心配である」が高い。
- 「子育て環境に関すること」に心配ごと等をもつ方からは、「子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である」「病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみてくれる人や施設がない」「子どもが自然体験をできる場が少ない」「子どもを安心して預けられる人や場所が少ない」などが高い。
- 未就学の「子育て支援に関する情報の入手状況」は、「保育所・幼稚園など」「家族・親戚」からが高く、「かわさき子育てアプリ」等は低い状況となっている。

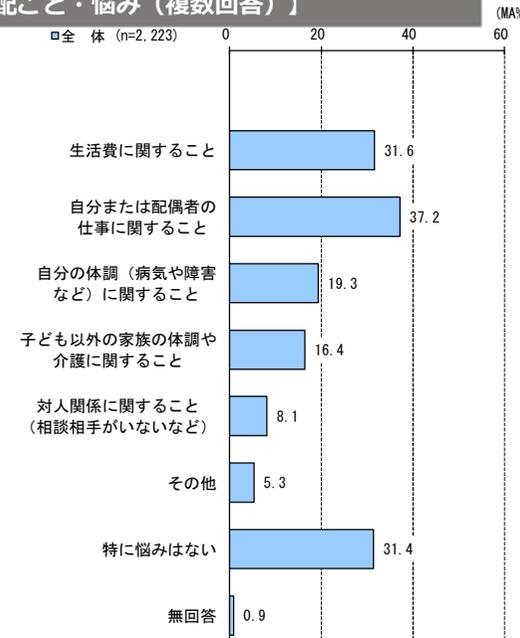
0～6歳の保護者

<今回調査>【図表 2-113 保護者自身の生活に関する心配ごと・悩み（複数回答）】



0～6歳の保護者

<前回調査>【図表 2-113 保護者自身の生活に関する心配ごと・悩み（複数回答）】

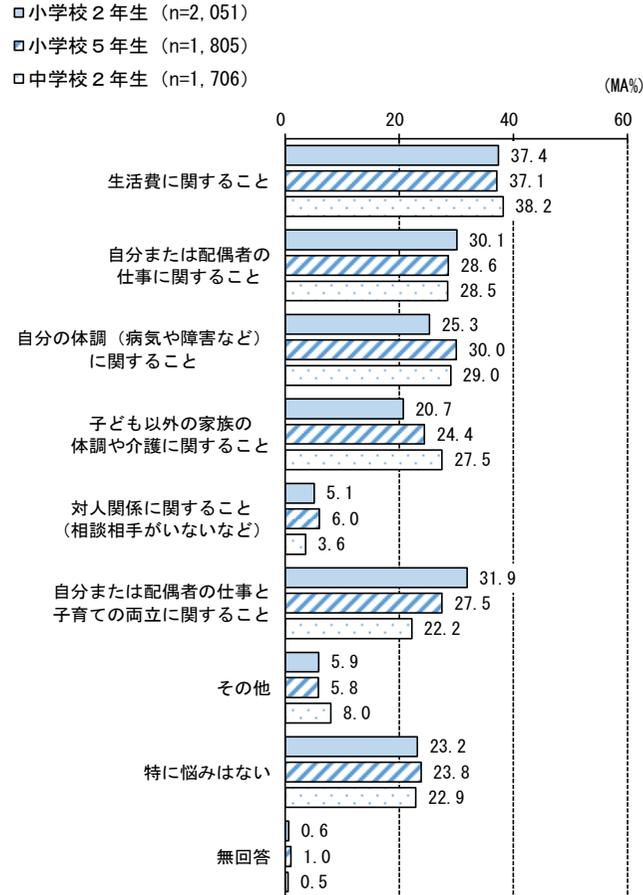


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

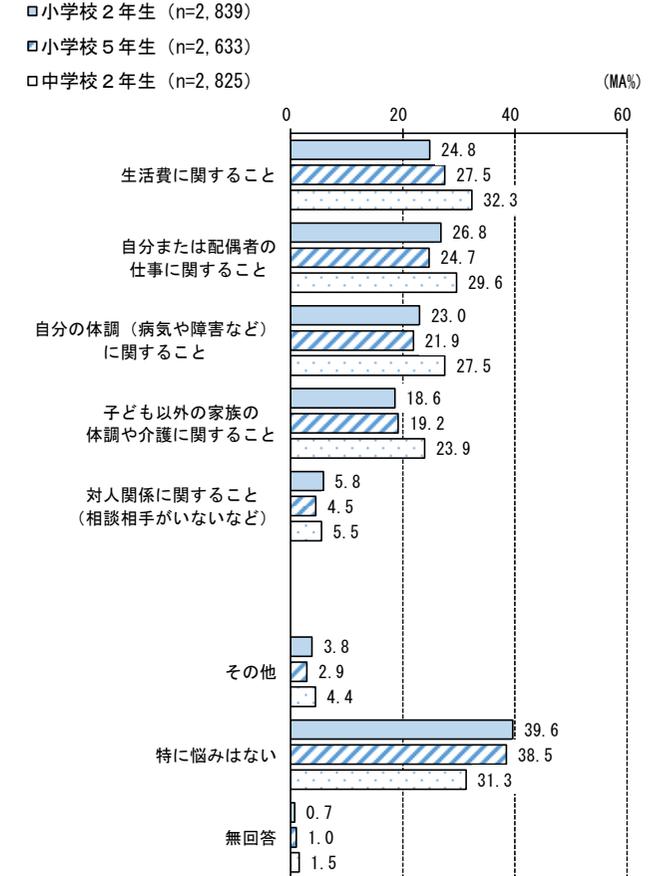
小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-257 保護者自身の生活に関する心配ごと・悩み（複数回答）】



小・中学生の保護者

＜前回調査＞【図表 2-113 保護者自身の生活に関する心配ごと・悩み（複数回答）】

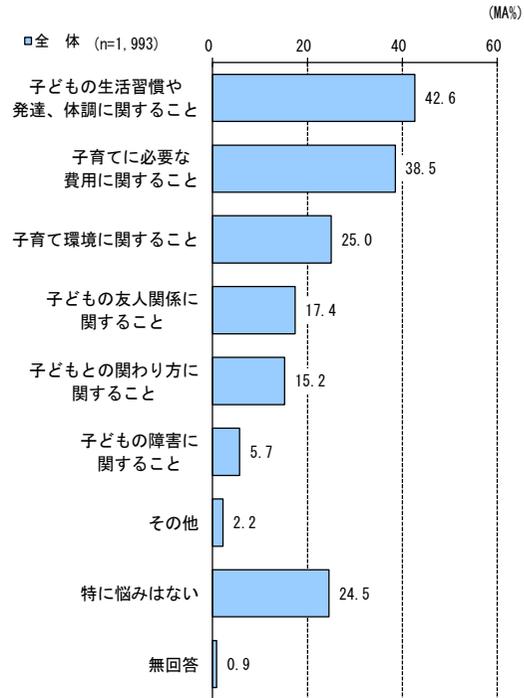


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

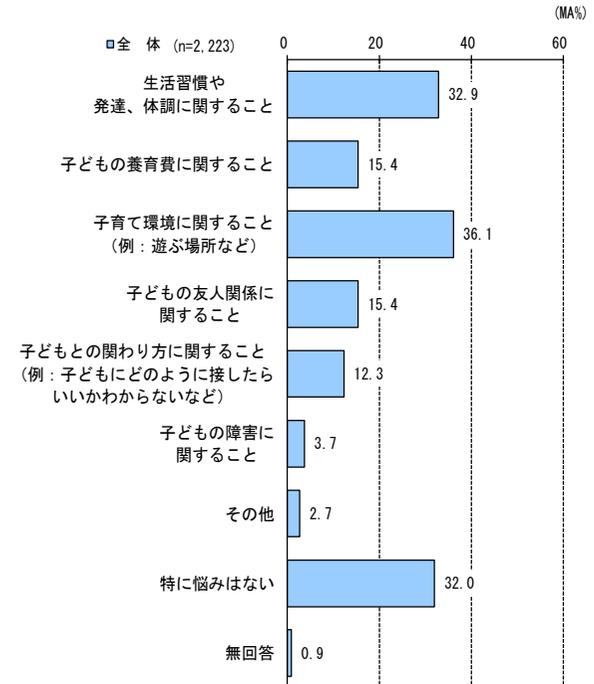
0～6歳の保護者

＜今回調査＞【図表 2-115 子どもや子育てに関する心配ごと・悩み（複数回答）】



0～6歳の保護者

＜前回調査＞【図表 2-115 子どもや子育てに関する心配ごと・悩み（複数回答）】



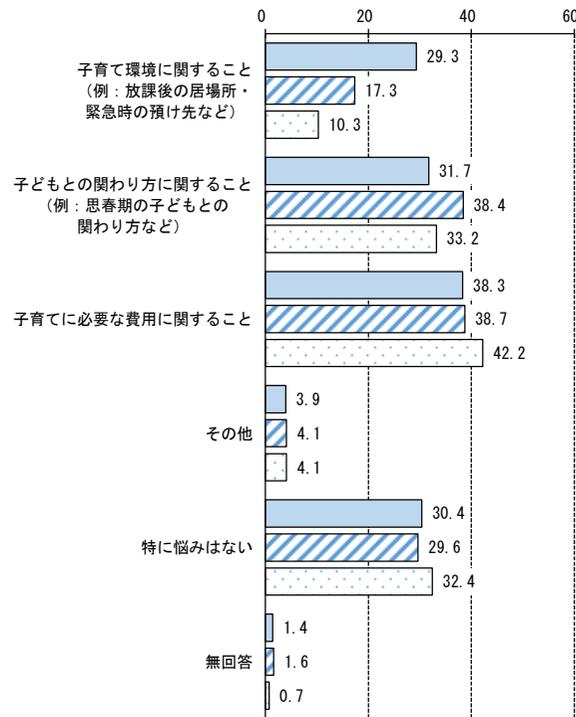
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-261 子育てに関する心配ごと・悩み（複数回答）】

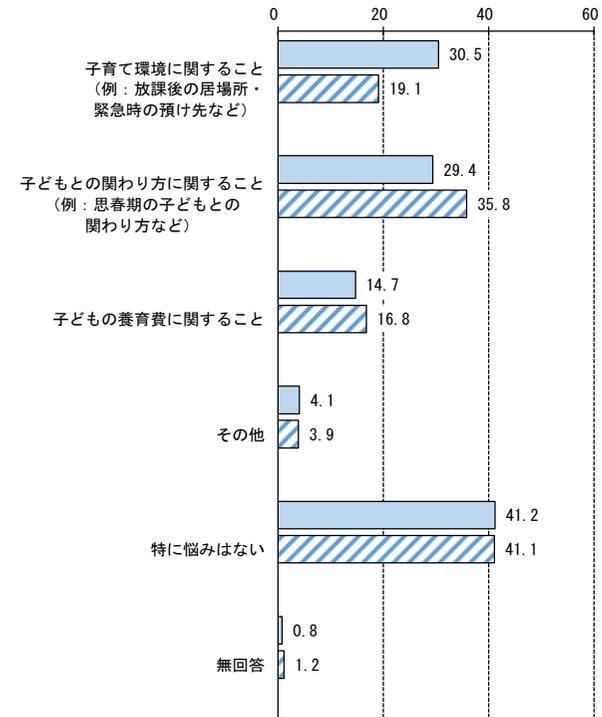
- 小学校2年生（n=2,051）
 - ▨小学校5年生（n=1,805）
 - 中学校2年生（n=1,706）
- (MA%)



小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-261 子育てに関する心配ごと・悩み（複数回答）】

- 小学校2年生（n=2,839）
 - ▨小学校5年生（n=2,633）
- (MA%)



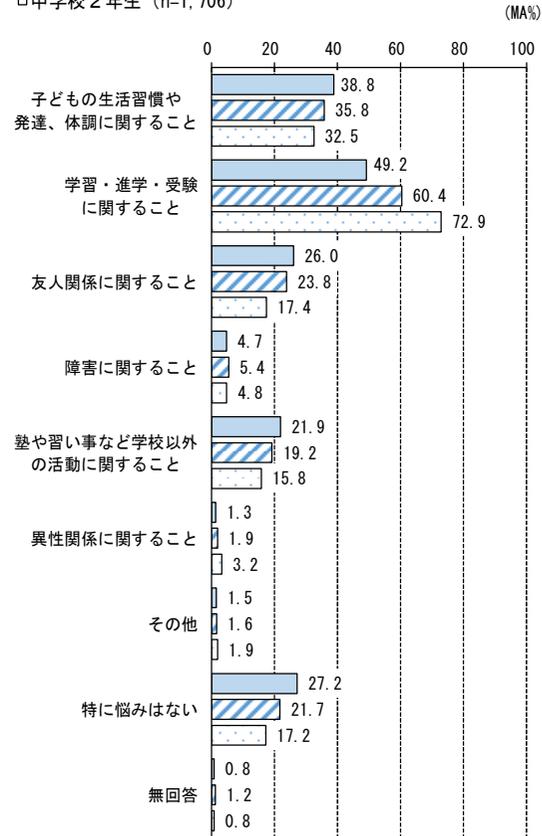
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-258 子どもに関する心配ごと・悩み（複数回答）】

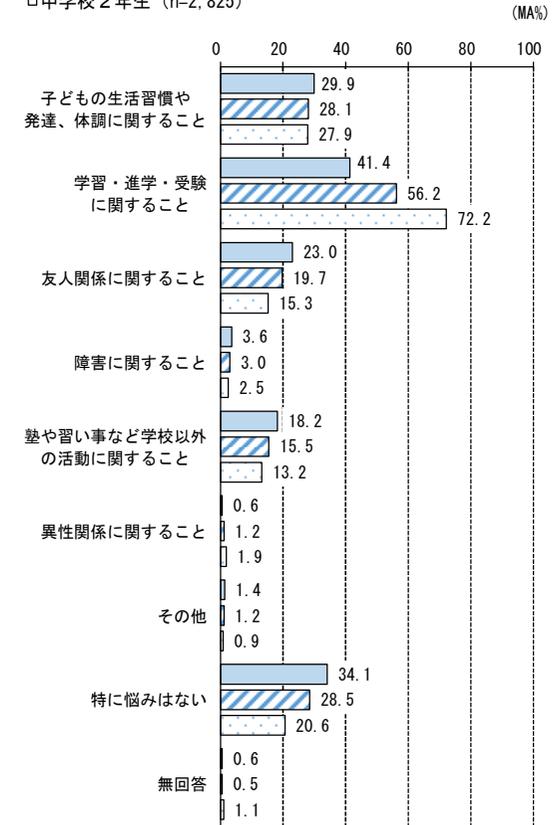
- 小学校2年生（n=2,051）
- 小学校5年生（n=1,805）
- 中学校2年生（n=1,706）



小・中学生の保護者

＜前回調査＞【図表 3-258 子どもに関する心配ごと・悩み（複数回答）】

- 小学校2年生（n=2,839）
- 小学校5年生（n=2,633）
- 中学校2年生（n=2,825）

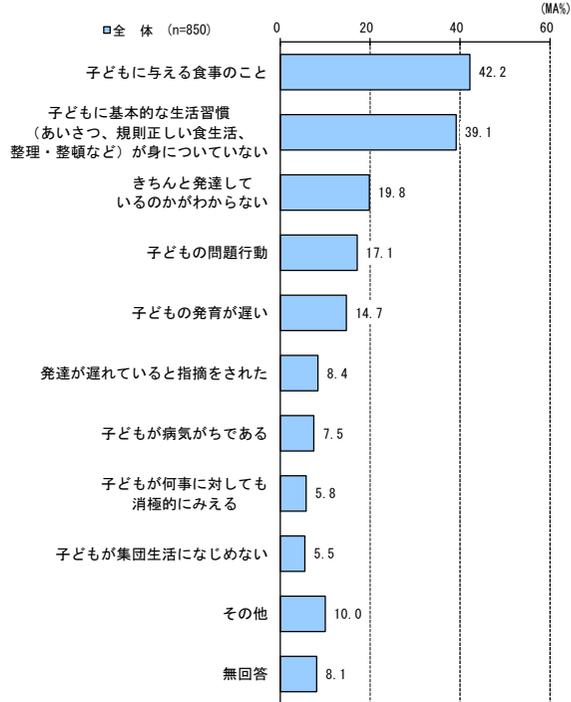


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

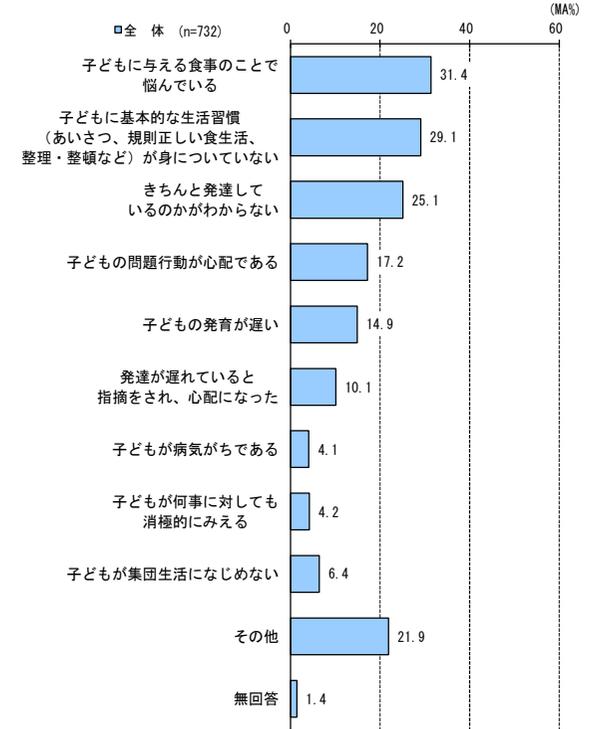
0～6歳の保護者

＜今回調査＞【図表 2-117 子どもの生活習慣や発達、体調に関する心配ごと・悩み（複数回答）】



0～6歳の保護者

＜前回調査＞【図表 2-117 子どもの生活習慣や発達、体調に関する心配ごと・悩み（複数回答）】

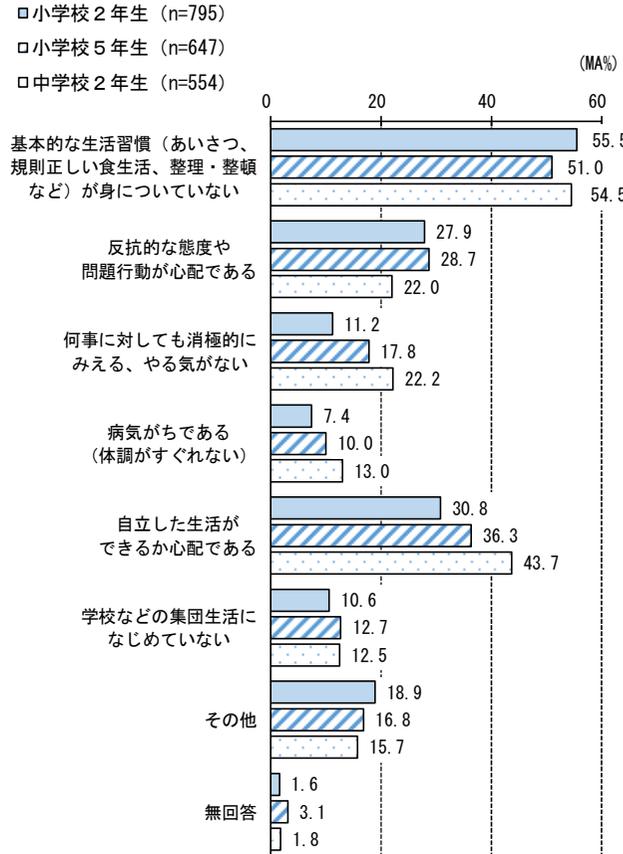


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

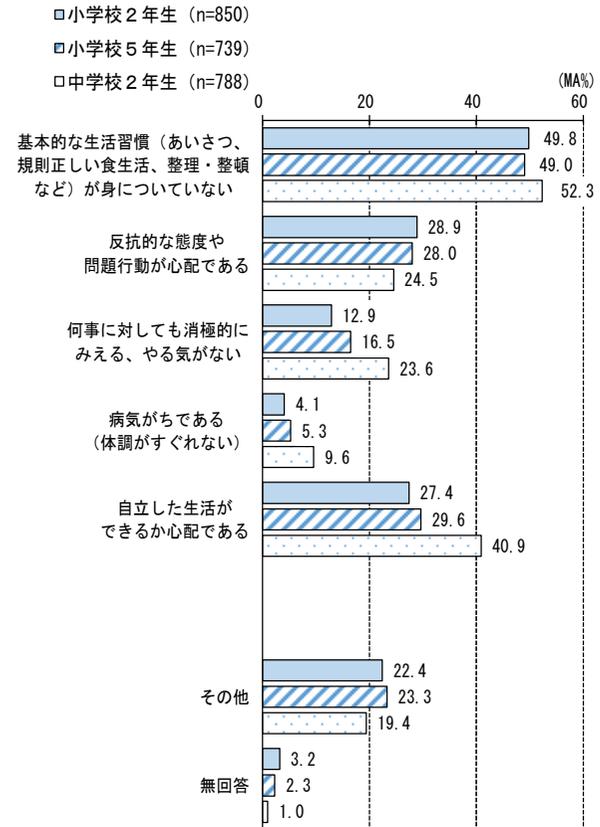
小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-259 子どもの生活習慣や発達、体調に関する心配ごと・悩み（複数回答）】



小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-259 子どもの生活習慣や発達、体調に関する心配ごと・悩み（複数回答）】

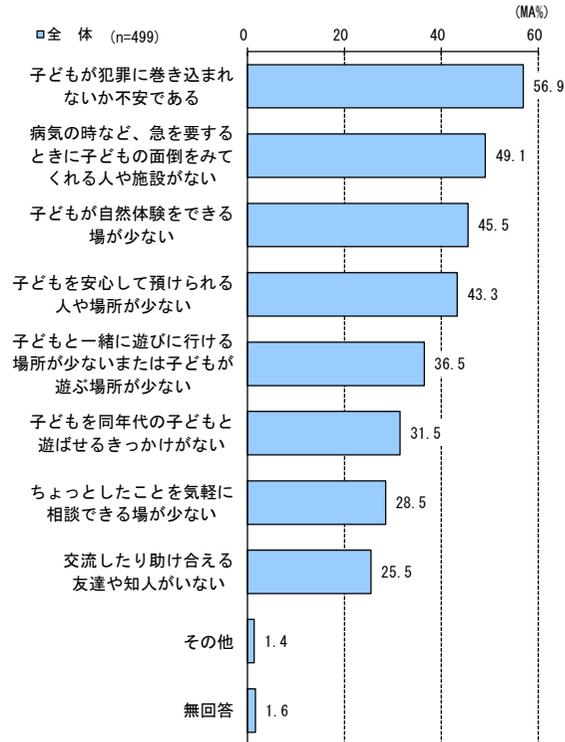


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

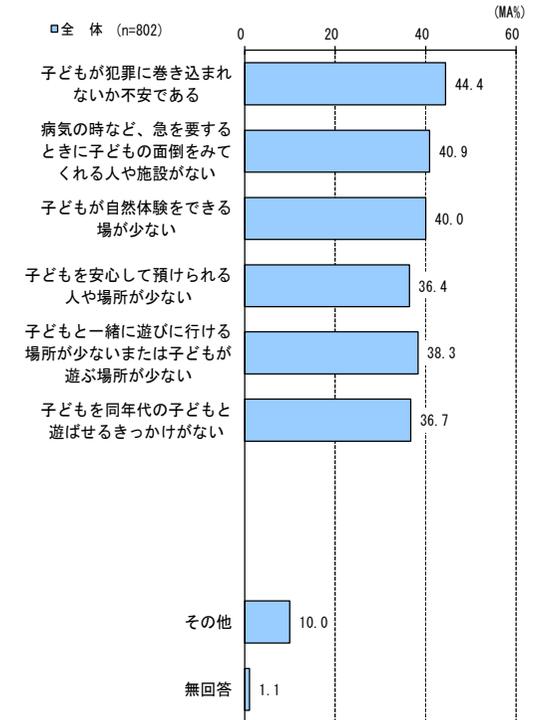
0～6歳の保護者

＜今回調査＞【図表 2-119 子育て環境に関する心配ごと・悩み（複数回答）】



0～6歳の保護者

＜今回調査＞【図表 2-119 子育て環境に関する心配ごと・悩み（複数回答）】

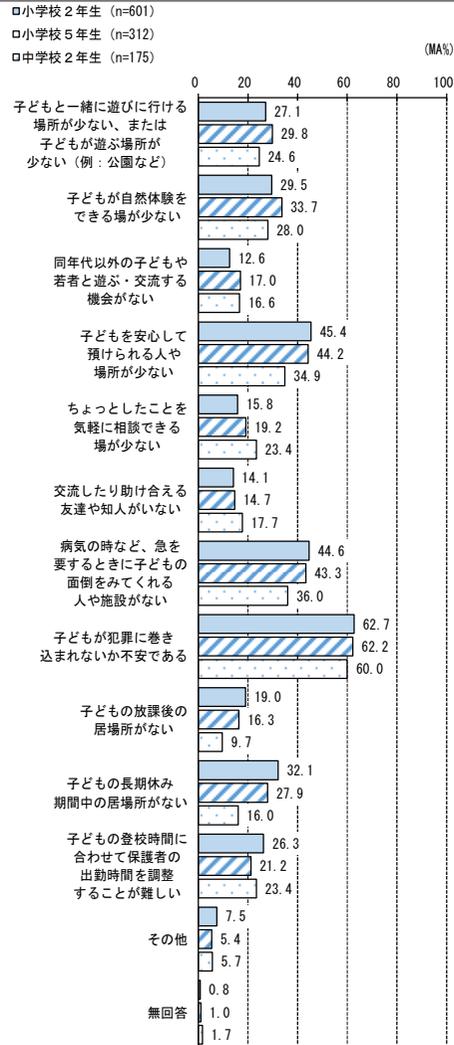


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

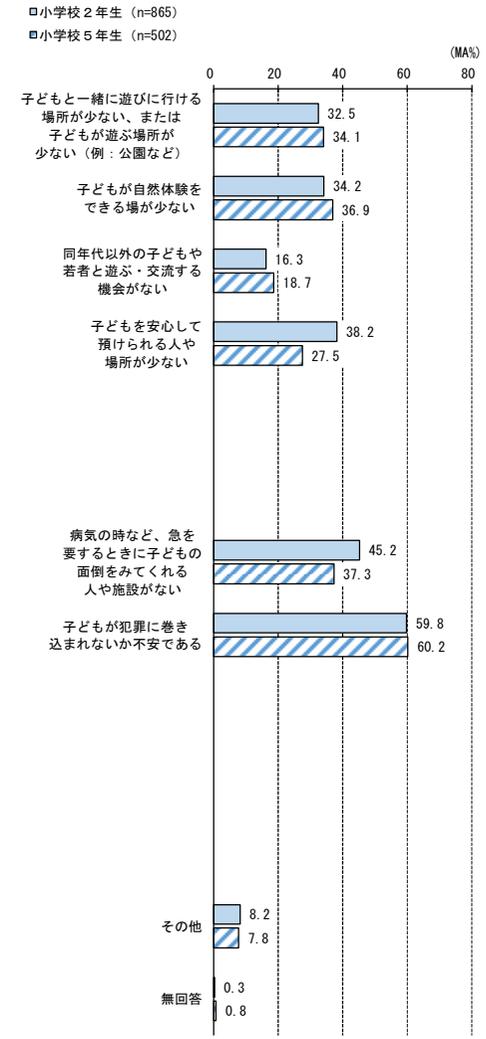
小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-262 子育て環境に関する心配ごと・悩み（複数回答）】



小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-262 子育て環境に関する心配ごと・悩み（複数回答）】

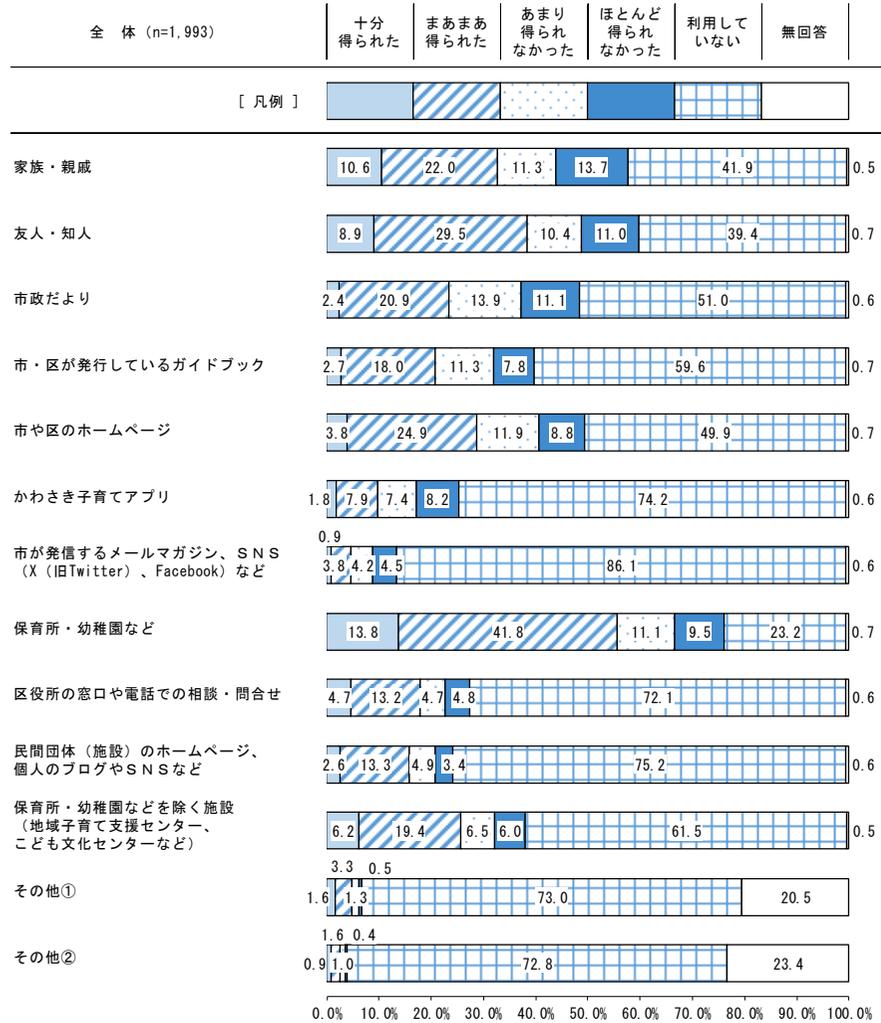


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(3) 保護者の状況（子育てに関する心配ごと等）

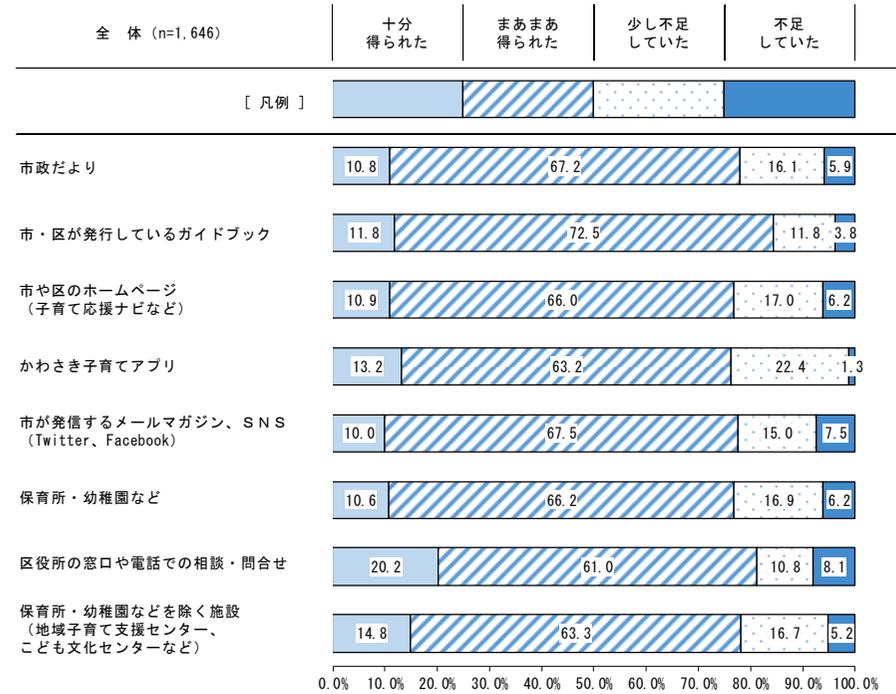
0～6歳の保護者

＜今回調査＞【図表 2-133 子育てに関する情報の入手方法と情報量】



0～6歳の保護者

＜前回調査＞【図表 2-134 子育てに関する情報の入手方法と情報量】



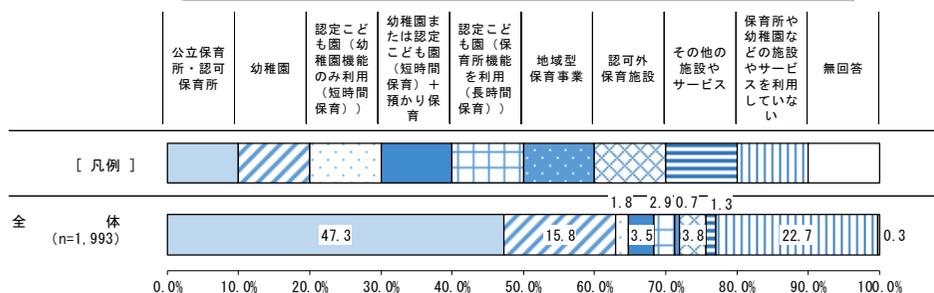
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(4) 子育ての状況（保育・幼児教育、子どもの小学校入学に向けて不安なこと）

- 平日日中に利用している施設等は、前回調査と比較し、「公立保育所・認可保育所」が高く、「保育所や幼稚園などの施設やサービスを利用していない」が低い。
- 未就学児の保護者が持つ「子どもの小学校入学に向けて不安なこと」については、「子どもが新しい生活にスムーズに移行できるか」「子どもの長期休み期間中の居場所」「子育てと仕事の両立ができるか」など、生活の変化への不安感が見られる。

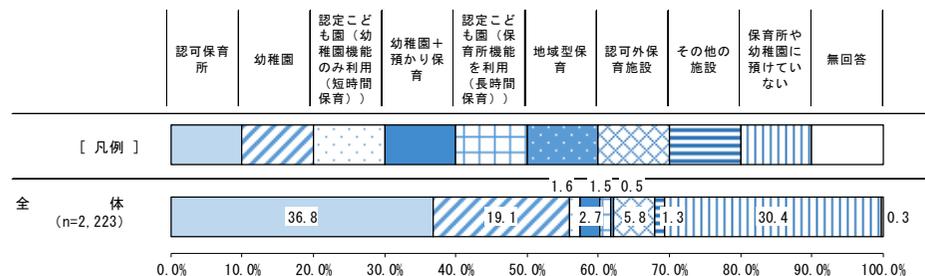
0～6歳の保護者

＜今回調査＞【図表 2-149 子どもが平日の日中に主に利用している施設】



0～6歳の保護者

＜前回調査＞【図表 2-150 子どもが平日の日中に主に利用している施設】

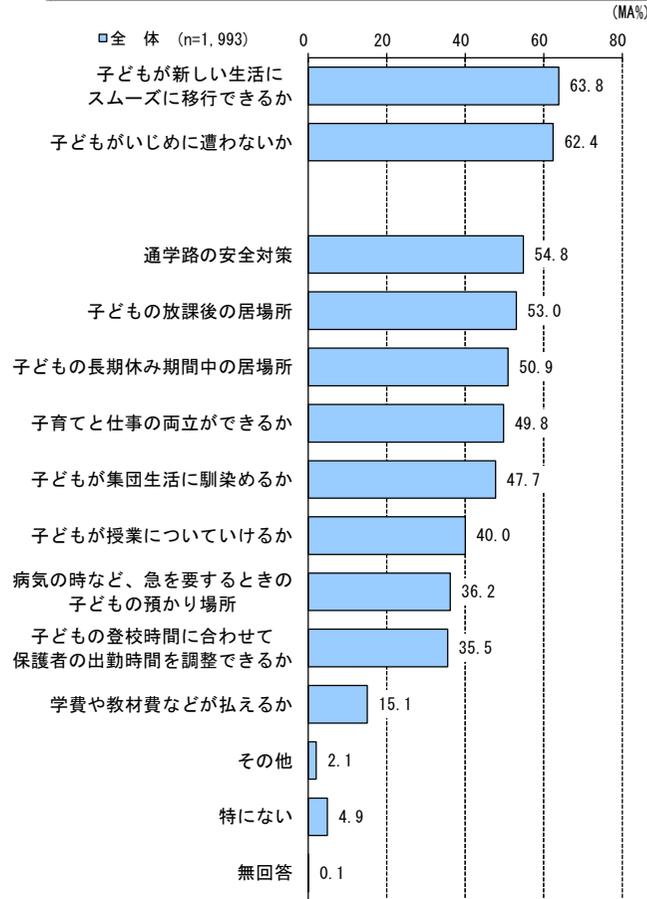


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(4) 子育ての状況（保育・幼児教育、子どもの小学校入学に向けて不安なこと）

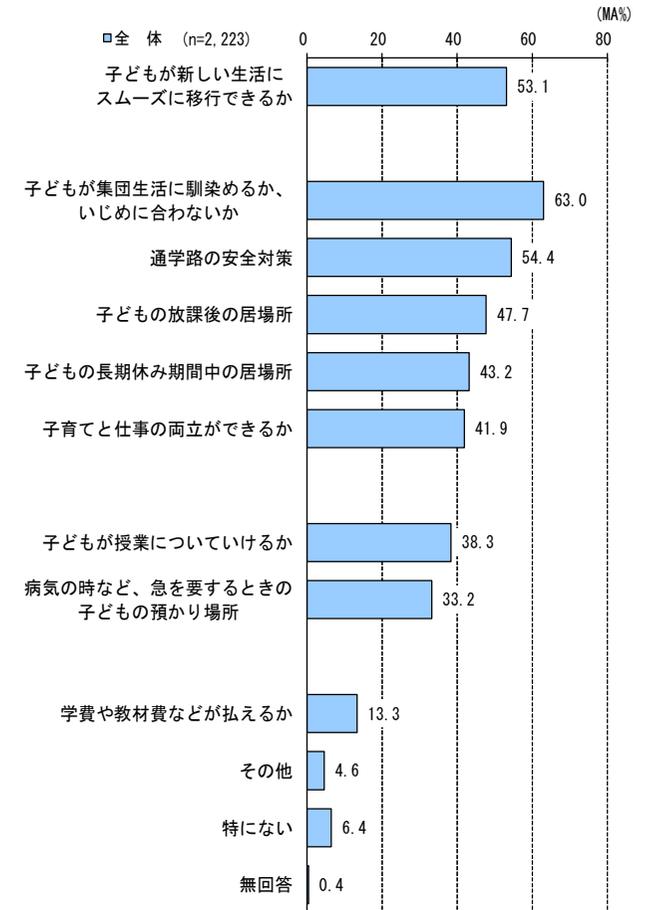
0～6歳の保護者

＜今回調査＞【図表 2-174 子どもの小学校入学に向けて不安なこと（複数回答）】



0～6歳の保護者

＜前回調査＞【図表 2-174 子どもの小学校入学に向けて不安なこと（複数回答）】



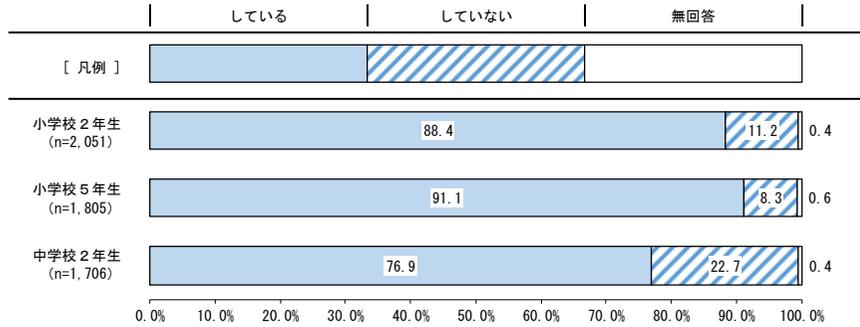
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(5) 子育ての状況（保護者と子どもとの関わり）

- 各学年で、「子どもを有料の学習塾や習い事に通わせる」割合が高いが、していない理由では、経済的な理由のほか、小2では「忙しくてできない」も高く、低学年では保護者が送迎等を行うことが必要な場合もあることも影響していると考えられる。
- 『家族旅行に行く』は各学年で前回より高く、コロナ禍の影響も考えられるが、保護者が旅行などの体験の機会を大事にしていることが推察される。

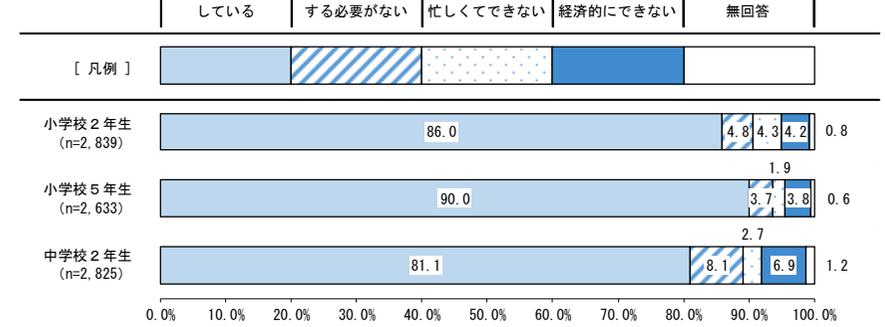
小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-424 (ア) 子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる】



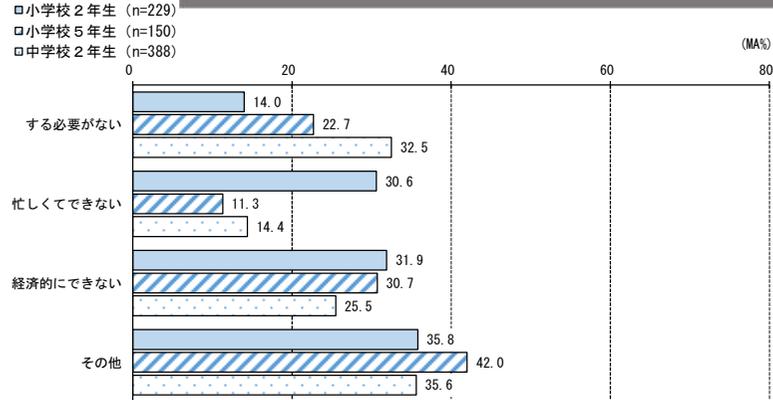
小・中学生の保護者

＜前回調査＞【図表 3-426 (ア) 子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる】



小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-425 (ア) していない理由（複数回答）】

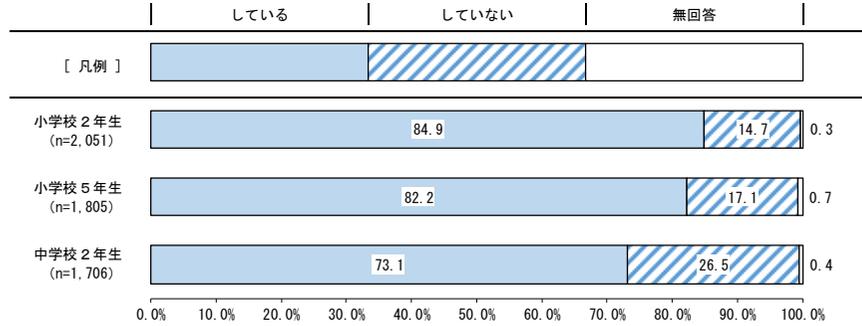


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(5) 子育ての状況（保護者と子どもとの関わり）

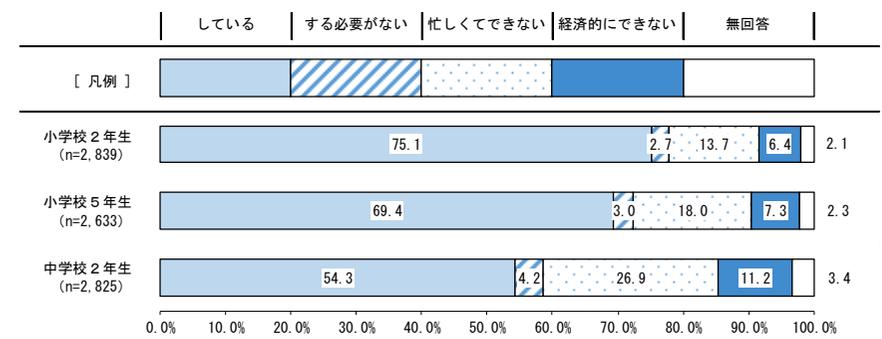
小・中学生の保護者

<今回調査> 【図表 3-430 (ウ) 家族旅行に行く】



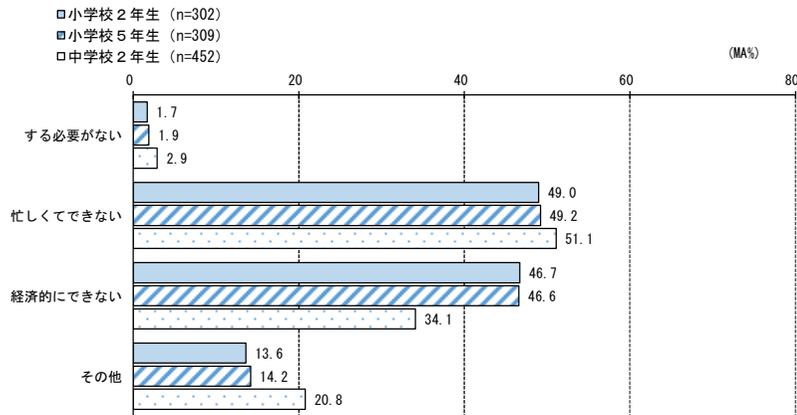
小・中学生の保護者

<前回調査> 【図表 3-432 (ウ) 家族旅行に行く】



小・中学生の保護者

<今回調査> 【図表 3-425 (ア) していない理由（複数回答）】



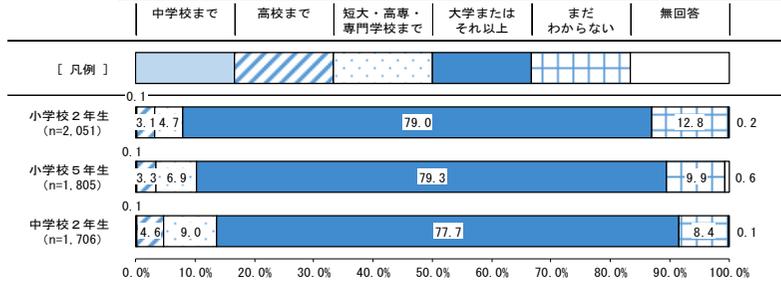
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(6) 子育ての状況（子どもに対する将来展望）

- 子どもの将来については、子どもの希望を尊重したいという保護者も多く、学歴については「大学またはそれ以上」を考える保護者が増加している。

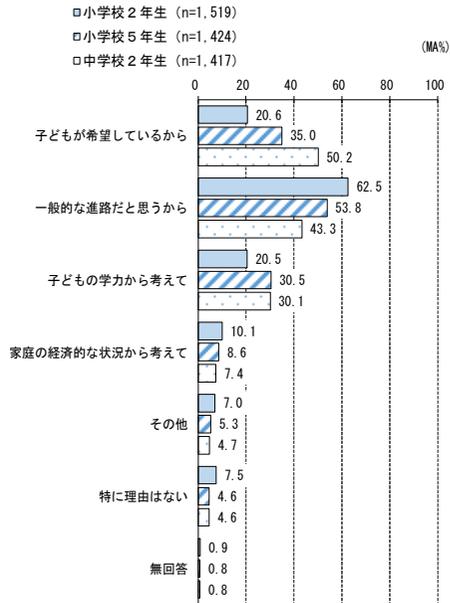
小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-515 子どもに望む最終学歴】



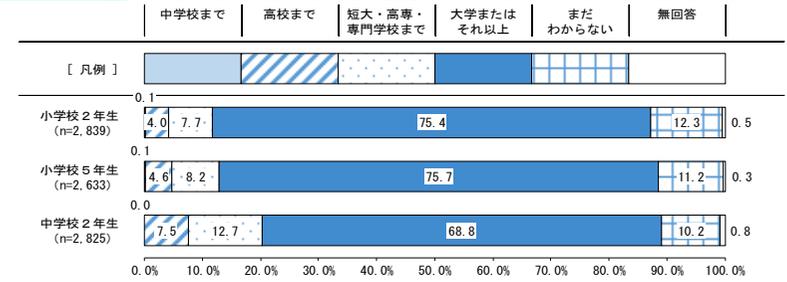
小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-555 子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由（複数回答）】



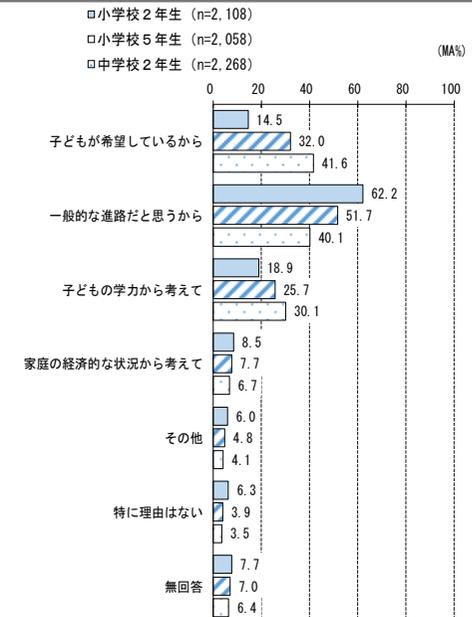
小・中学生の保護者

＜前回調査＞【図表 3-516 子どもに望む最終学歴】



小・中学生の保護者

＜前回調査＞【図表 3-555 子どもの最終学歴（現実的に見た進路）の理由（複数回答）】



令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

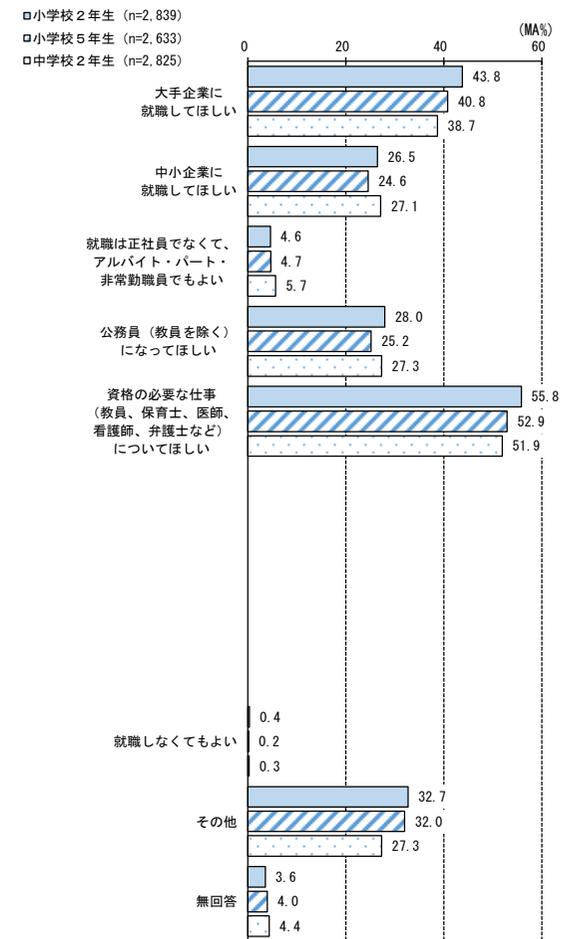
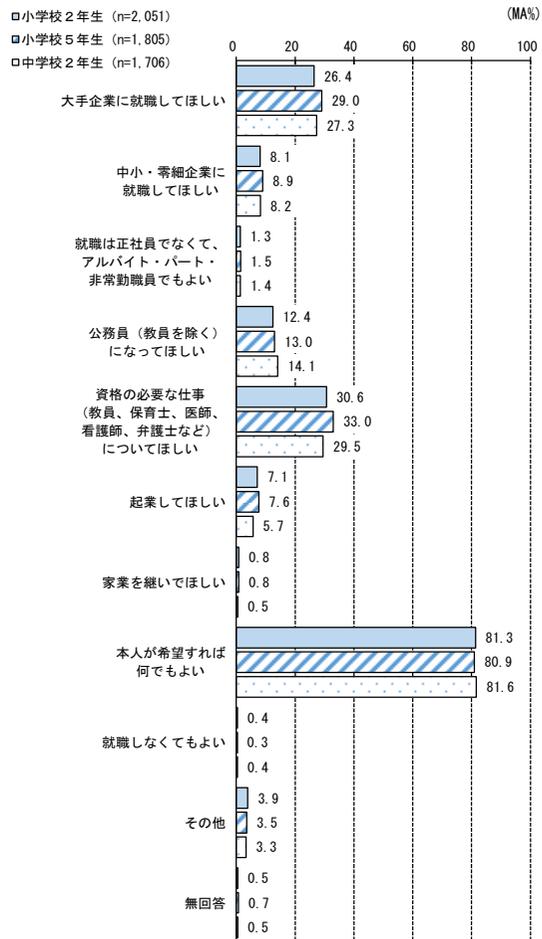
(6) 子育ての状況 (子どもに対する将来展望)

小・中学生の保護者

<今回調査> 【図表 3-559 子どもに望む就職先 (複数回答)】

小・中学生の保護者

<前回調査> 【図表 3-559 子どもに望む就職先 (複数回答)】



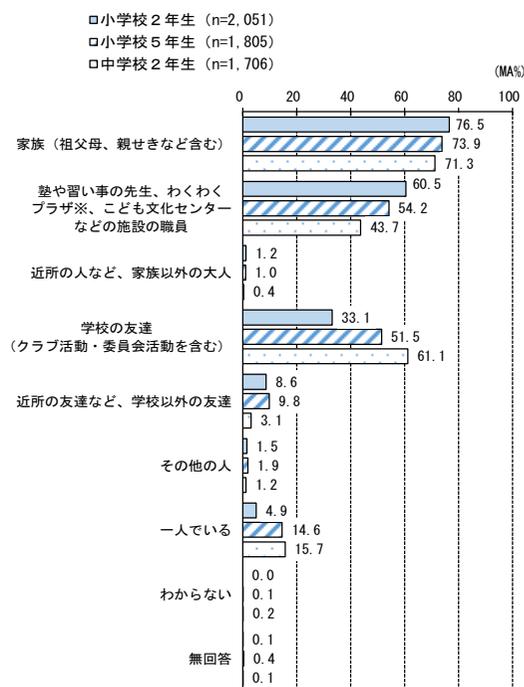
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(7) 子どもの放課後の過ごし方

- 共働き（正社員等）家庭が増加し、学齢期の子どもの放課後の過ごし方が変化しており、「放課後一緒に過ごす人」は、小2、小5では「塾や習い事の先生、わくわくプラザ、こども文化センターなどの施設の職員」が、中学校2年生では「学校の友達（クラブ活動、委員会活動を含む）」が増加している。
- いずれの学年も「家族」が最も高いが、前回調査より減少している。小2は「学校の友達（クラブ活動、委員会活動を含む）」も減少している。
- 「自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）」「自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）」「学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所」「自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）」について、「利用したい」割合が「利用している」割合よりも高く、それぞれ潜在的なニーズがあるものと思われる。
- 「放課後過ごす場所に希望すること」は、「友達と気軽に集まれるようにしてほしい」「一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい」などのニーズが高い。

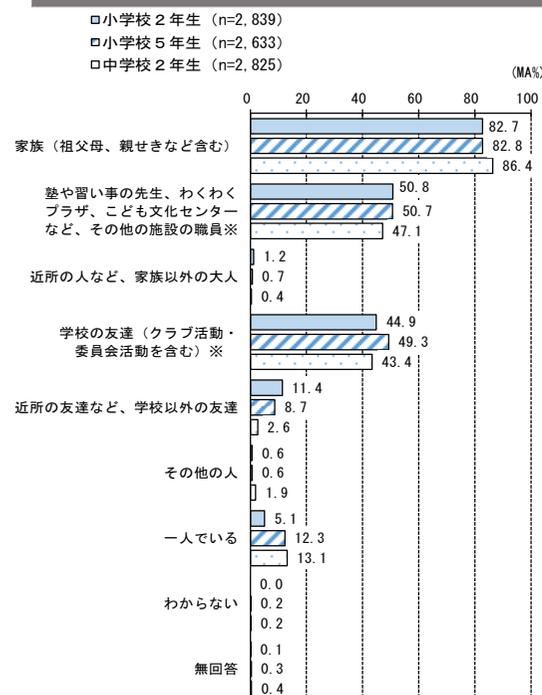
小・中学生の保護者

＜今回調査＞【図表 3-613 子どもが放課後一緒に過ごす人（複数回答）】



小・中学生の保護者

＜前回調査＞【図表 3-613 子どもが放課後一緒に過ごす人（複数回答）】

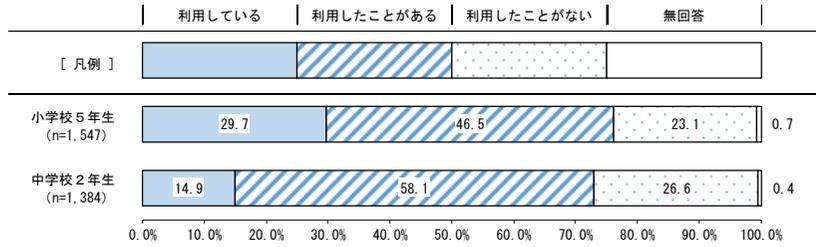


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(7) 子どもの放課後の過ごし方

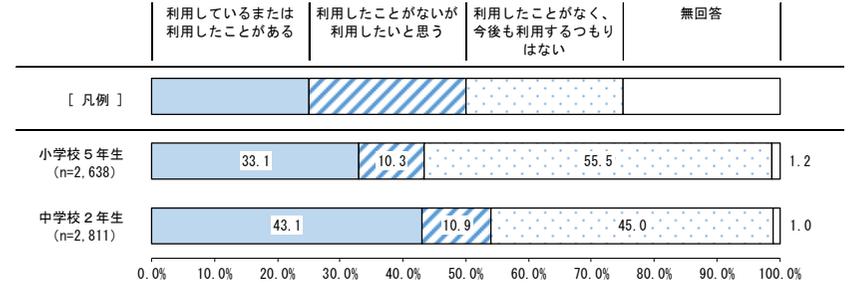
小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-34 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況】



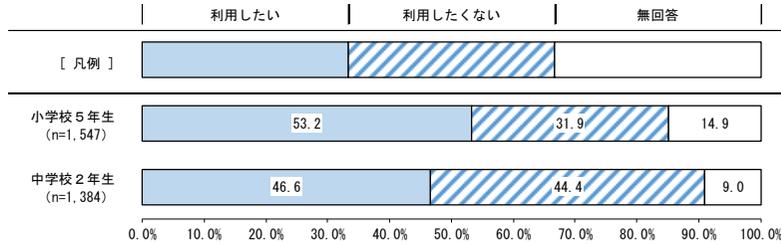
小・中学生

＜前回調査＞【図表 4-36 自分や友達の家以外で、平日の夜や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況】



小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-35 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望】

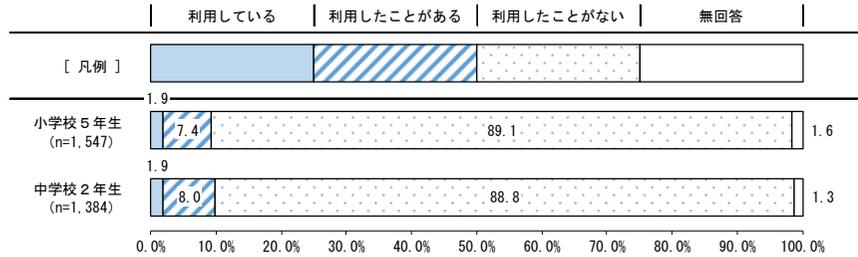


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(7) 子どもの放課後の過ごし方

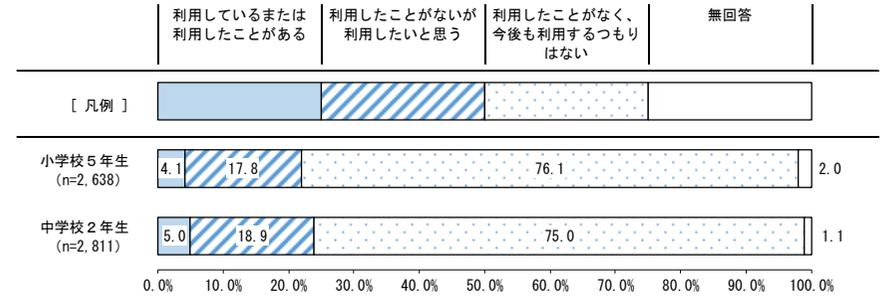
小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-49 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】



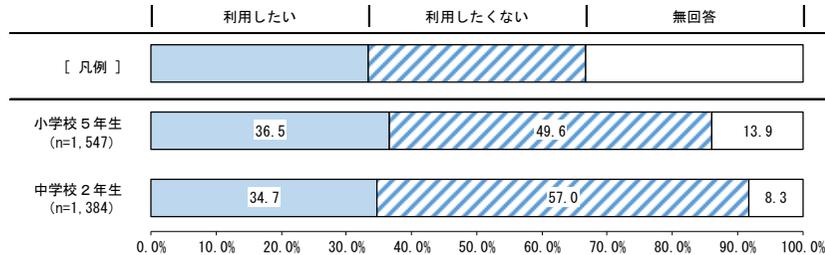
小・中学生

＜前回調査＞【図表 4-51 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】



小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-50 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望】

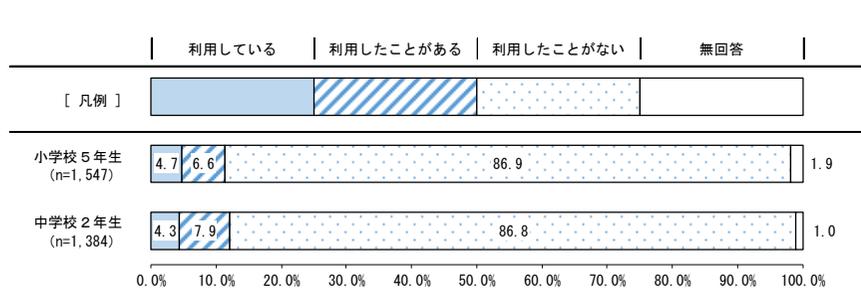


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(7) 子どもの放課後の過ごし方

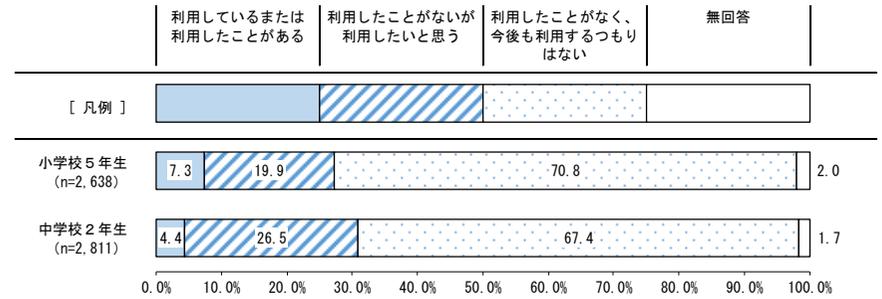
小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-64 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】



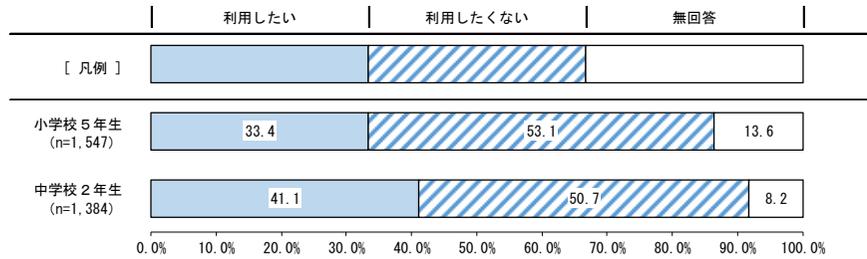
小・中学生

＜前回調査＞【図表 4-66 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】



小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-65 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望】

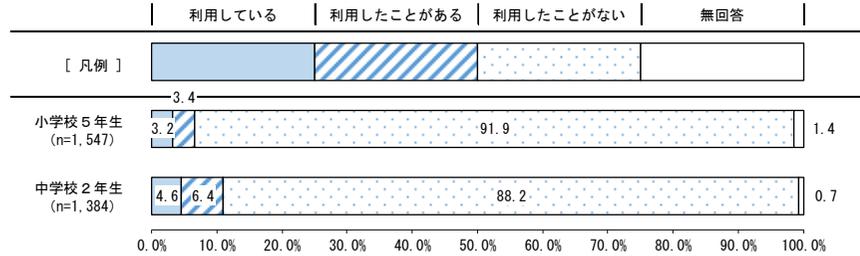


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(7) 子どもの放課後の過ごし方

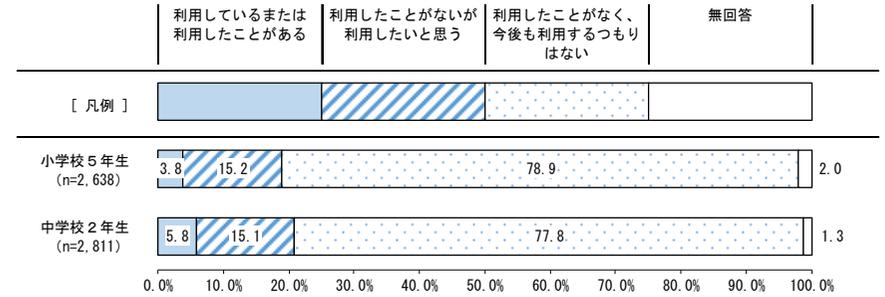
小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-79 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所】



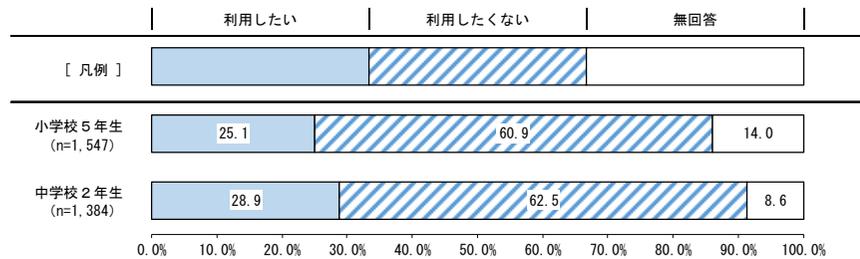
小・中学生

＜前回調査＞【図表 4-81 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所】



小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-80 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所】



令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

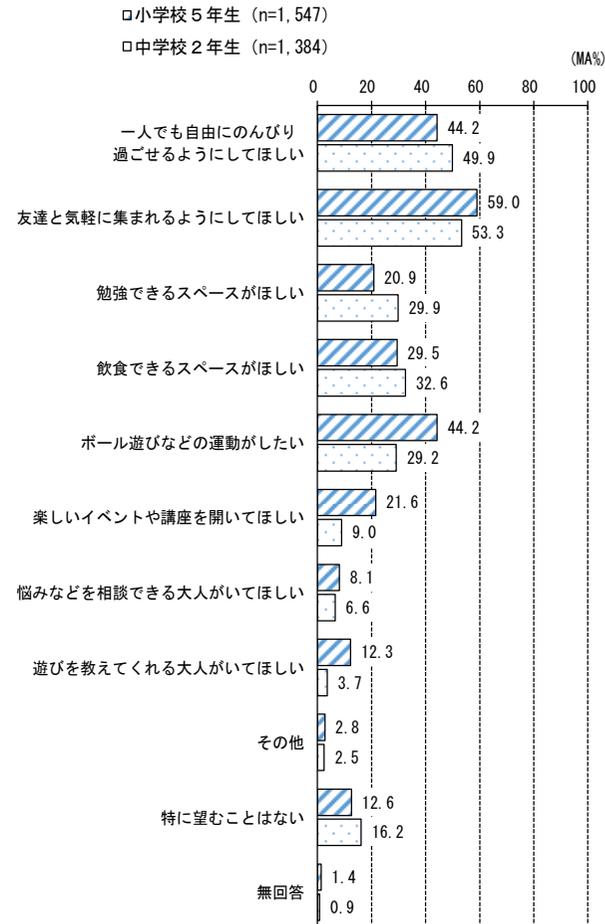
(7) 子どもの放課後の過ごし方

小・中学生

<今回調査> 【図表 4-95 放課後過ごす場所に希望すること
(複数回答)】

小・中学生

<前回調査> なし



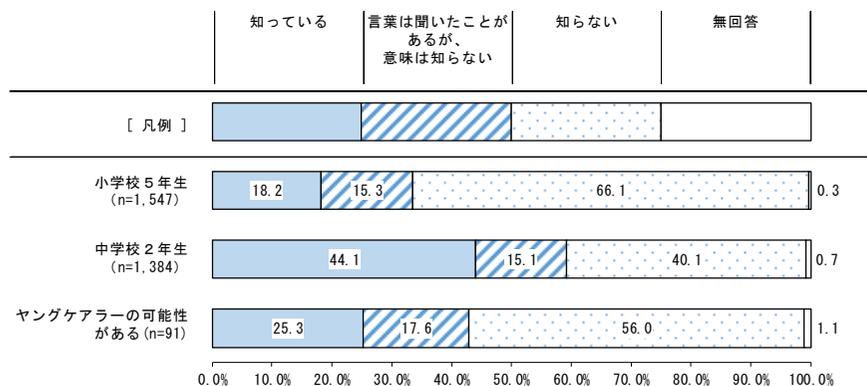
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(8) ヤングケアラーについて ※前回調査項目なし

- ヤングケアラーの認知度が中2で「知っている」が44.1%、若者で60.8%となっている。
- ヤングケアラーの可能性があるのは、小学校5年生が3.6%、中学校2年生が2.6%、若者が5.6%となっている
- ケアの内容としては、「家族のかわりに、幼いきょうだいの世話をしている」「障害や病気のある家族のかわりに、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている」が多い状況となっている。若者では、「生活費を得るために働いて、障害や病気のある家族を助けている。」も多い。
- 生活への影響としては、「寝る時間が足りない」「友人と遊べない」「自由にすごせる時間がない」状況となっている。
- ヤングケアラーの可能性のある人が感じていることとしては、「やりがいを感じている」「身体が少しつらい」「特に何も感じていない」等となっている。
- 世話や家事等についての相談相手としては、「誰にも話していない」「家族」「友達」の順となっている。
- 周りからしてもらいたいこととしては、「勉強を教えてほしい」「自分のことについて話を聞いてほしい」「進路や就職など将来の相談にのってほしい」等となっている。若者では、「お金の面で支援してほしい」が最も多い。

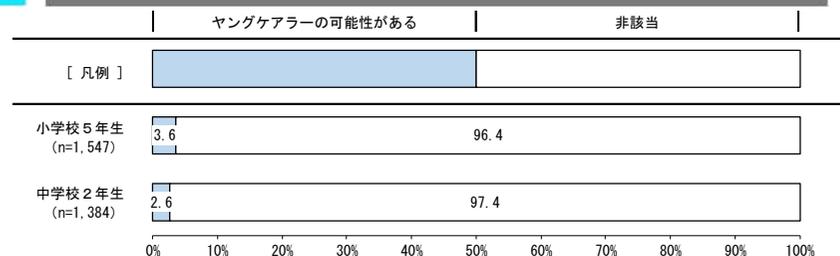
小・中学生

<今回調査>【図表 4-384 「ヤングケアラー」という言葉の認知度】



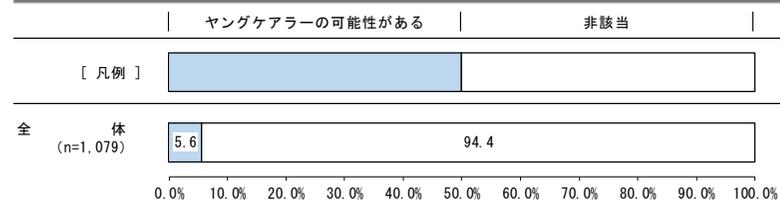
小・中学生

<今回調査>【図表 4-353 ヤングケアラーの可能性】



若者

<今回調査>【図表 5-109 ヤングケアラーの可能性】

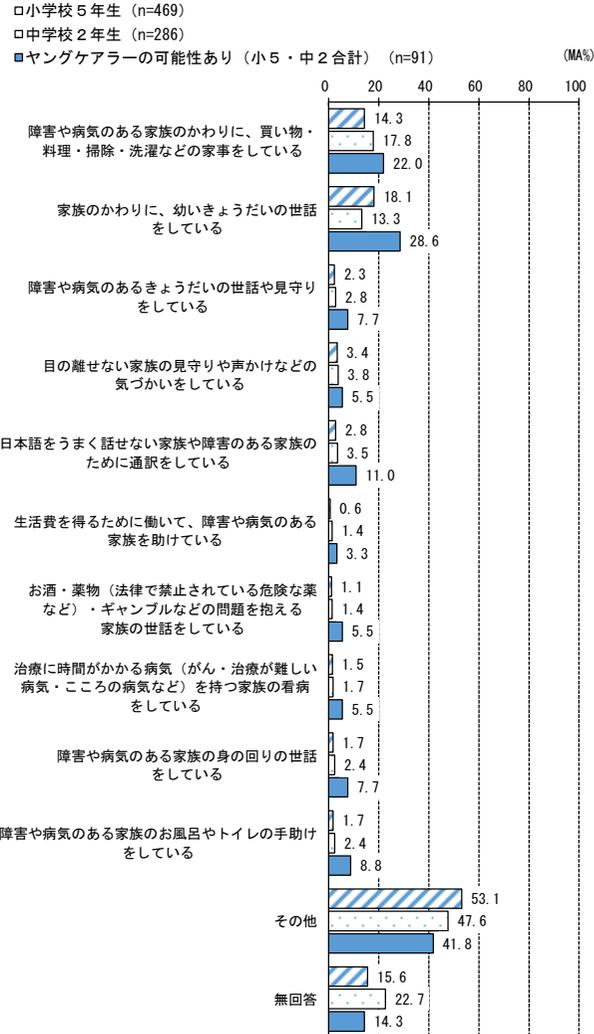


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(8) ヤングケアラーについて ※前回調査項目なし

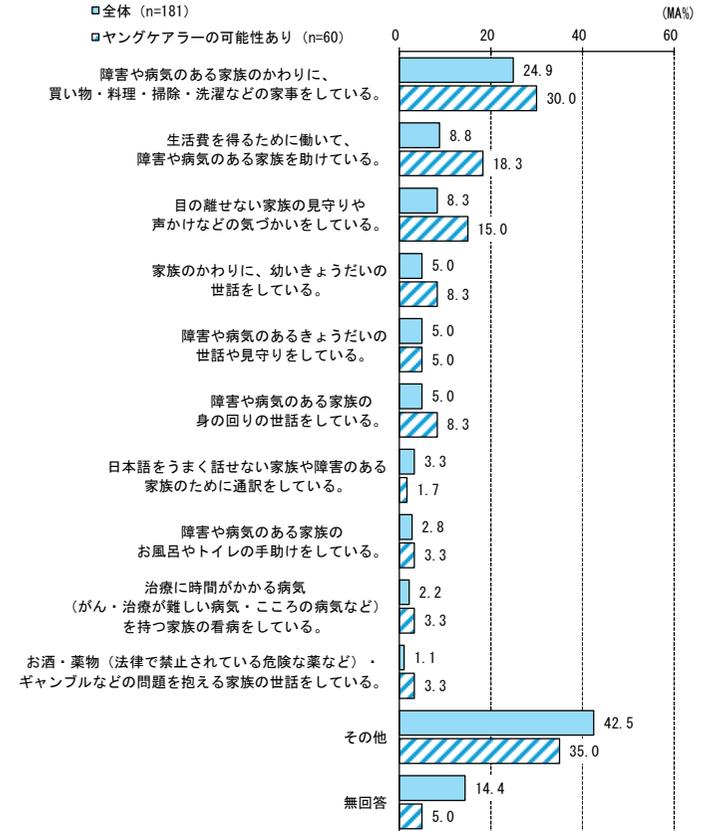
小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-362 世話や家事等の内容（複数回答）】



若者

＜今回調査＞【図表 5-116 世話や家事等の内容（複数回答）】



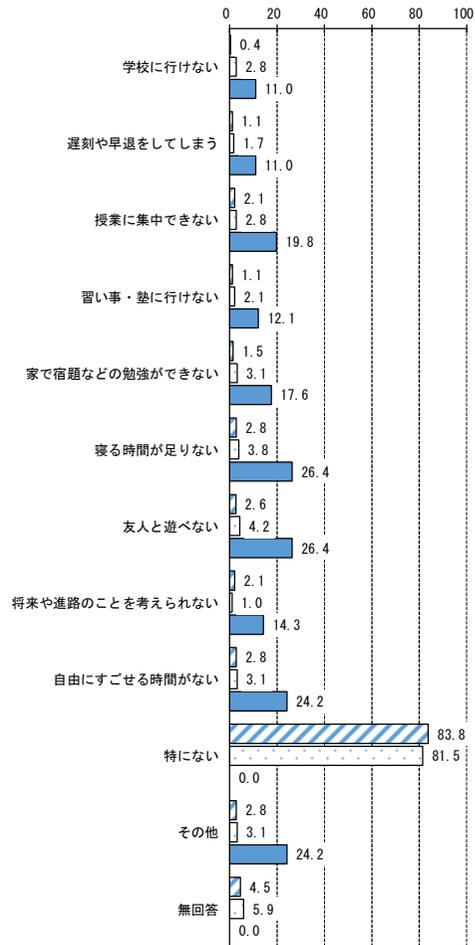
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(8) ヤングケアラーについて ※前回調査項目なし

小・中学生

<今回調査>【図表 4-365 世話や家事等をしていることの影響 (複数回答)】

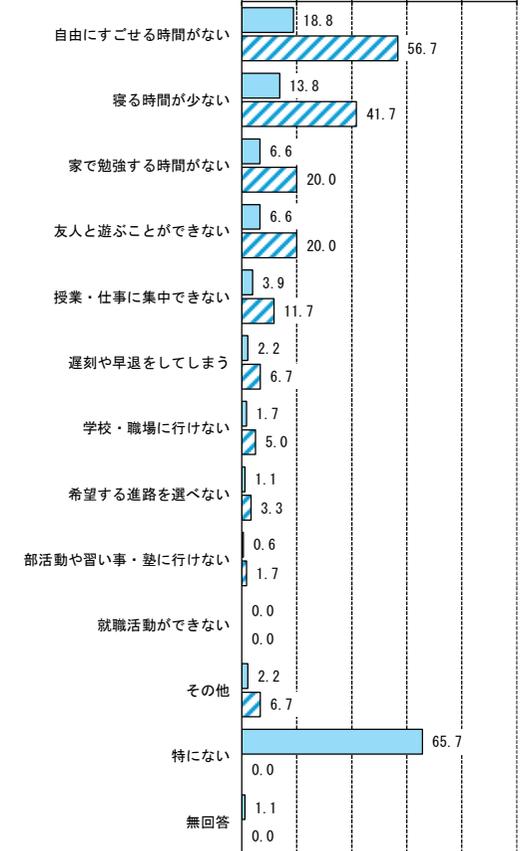
- 小学校5年生 (n=469)
- 中学校2年生 (n=286)
- ヤングケアラーの可能性あり (小5・中2合計) (n=91) (MA%)



若者

<今回調査>【図表 5-118 世話や家事等をしていることの影響 (複数回答)】

- 全体 (n=181)
- ヤングケアラーの可能性あり (n=60) (MA%)

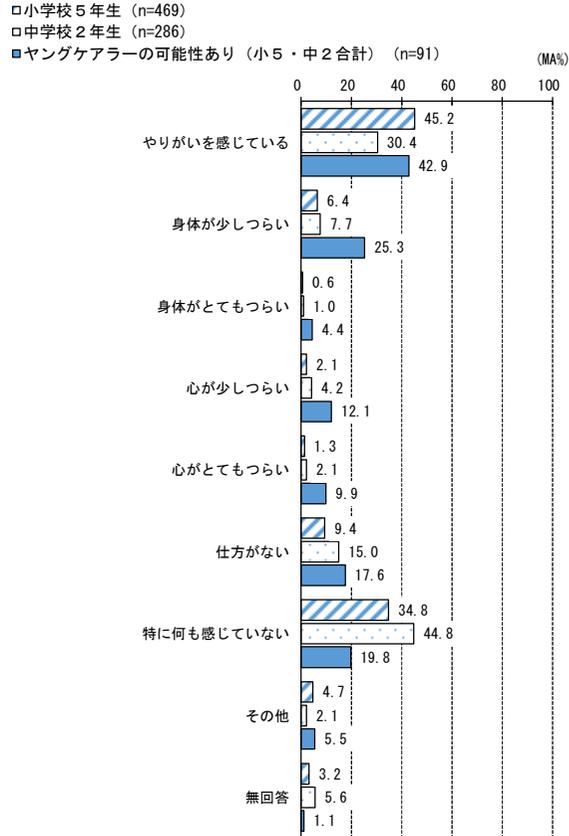


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(8) ヤングケアラーについて ※前回調査項目なし

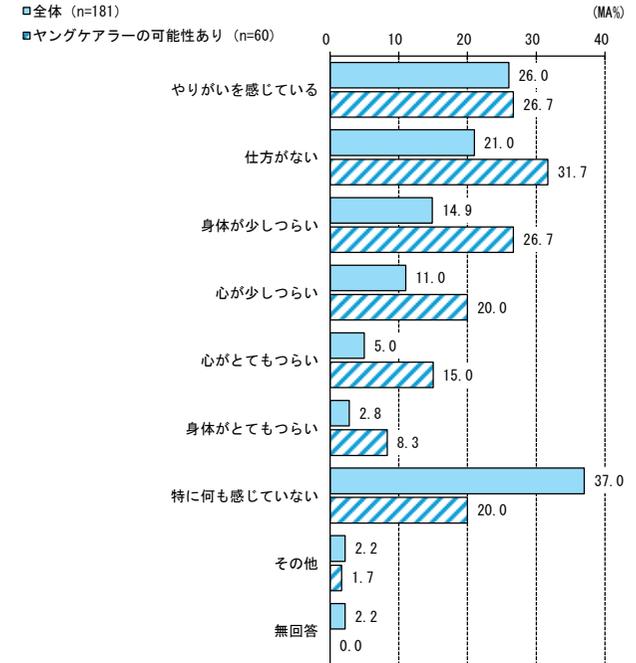
小・中学生

<今回調査>【図表 4-368 世話や家事等をしていて感じること (複数回答)】



若者

<今回調査>【図表 5-120 世話や家事等をしていて感じること (複数回答)】



令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

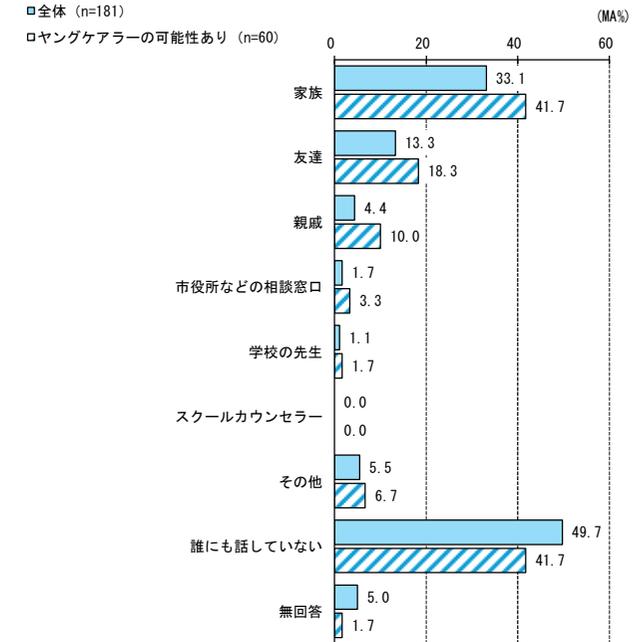
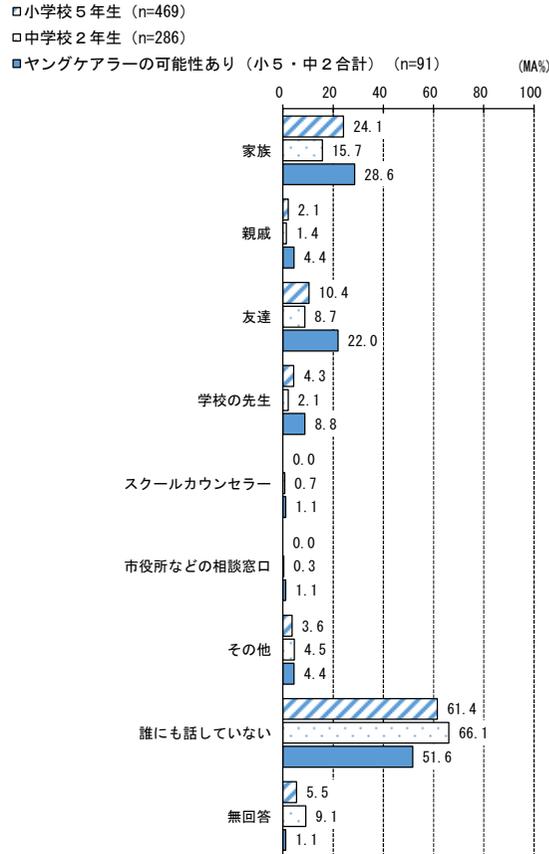
(8) ヤングケアラーについて ※前回調査項目なし

小・中学生

<今回調査>【図表 4-371 世話や家事等についての相談相手
(複数回答)】

若者

<今回調査>【図表 5-122 世話や家事等についての相談相手
(複数回答)】



令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(8) ヤングケアラーについて ※前回調査項目なし

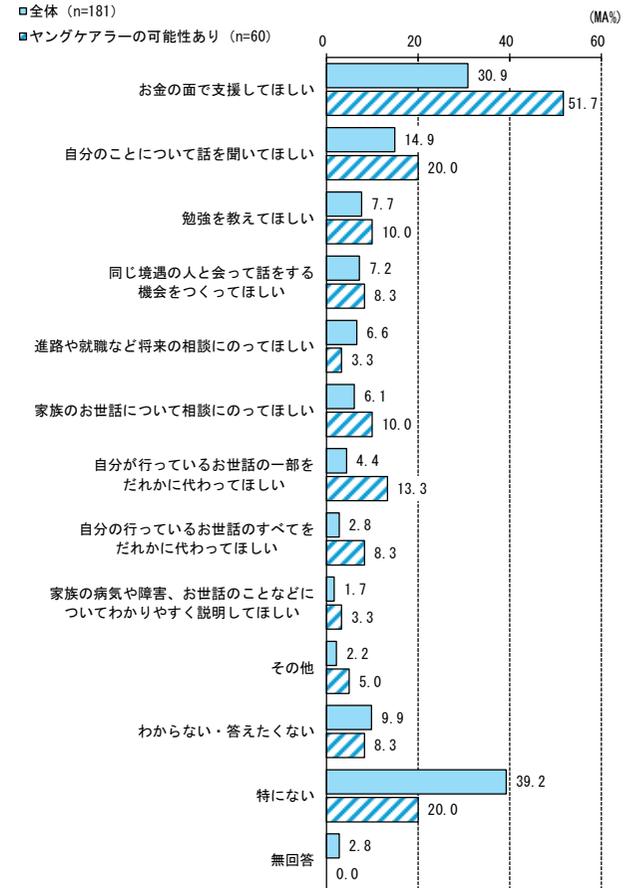
小・中学生

＜今回調査＞【図表 4-374 周りからしてもらいたいこと（複数回答）】



若者

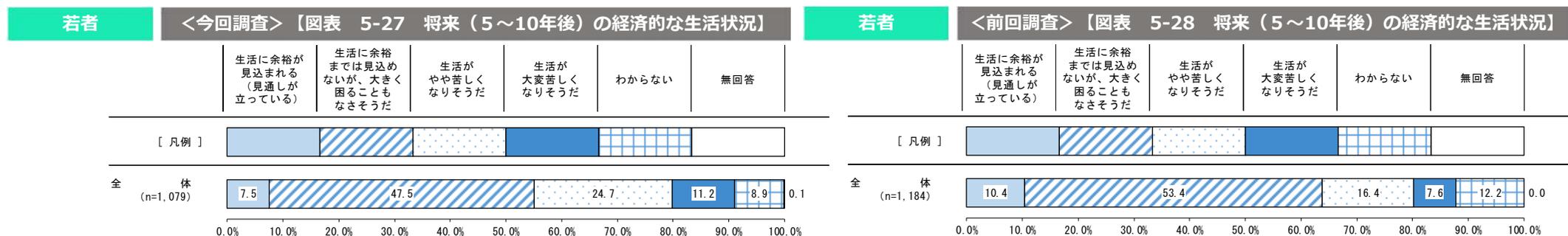
＜今回調査＞【図表 5-124 周りからしてもらいたいこと（複数回答）】



令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(9) 若者に対する調査（生活状況等）

- 経済的な生活状況は、「生活がやや苦しくなりそうだ」とする割合が前回調査より高く、関心があることでは「お金のこと」「自分の将来や進路のこと」「仕事のこと」が高い。
- 『仕事を選ぶ際に重要と考えること』は、『安定していて長く続けられる』『高収入である』『福利厚生が充実している』『働く先が大きな会社（大企業）又は有名な会社である』で、前回調査に比べて高くなっている。
- 理想とする生き方は、「自分の好きなように暮らすこと」が最も高く、次いで「家族と幸せに暮らすこと」、「経済的に豊かになること」となっている。

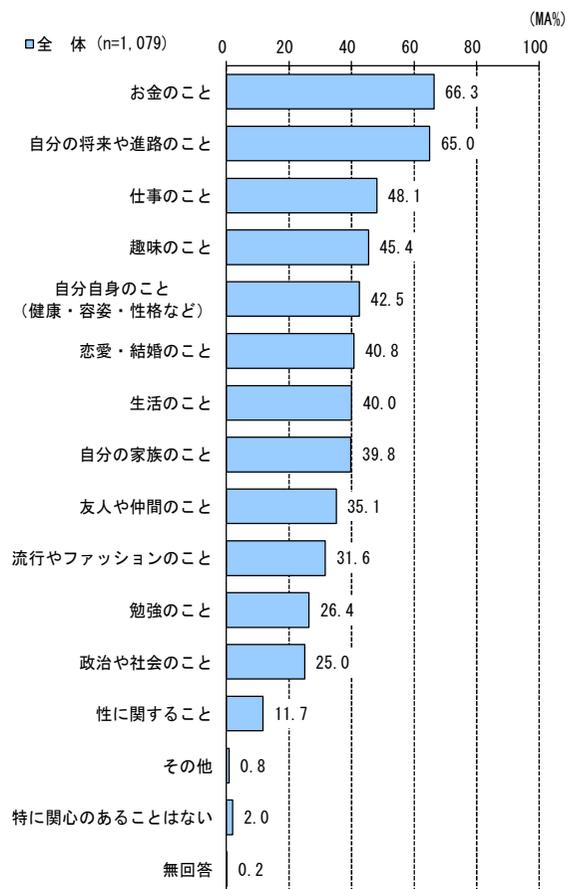


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(9) 若者に対する調査（生活状況等）

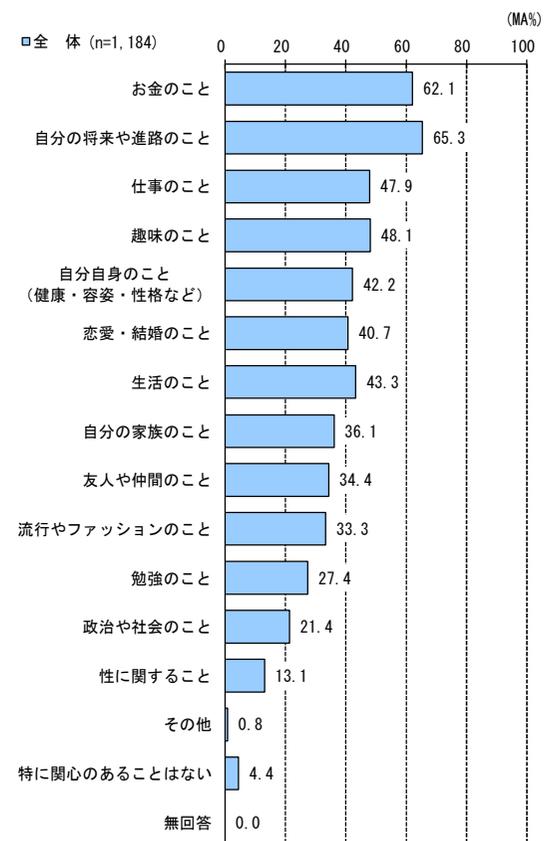
若者

<今回調査>【図表 5-31 今、関心のあること（複数回答）】



若者

<前回調査>【図表 5-31 今、関心のあること（複数回答）】

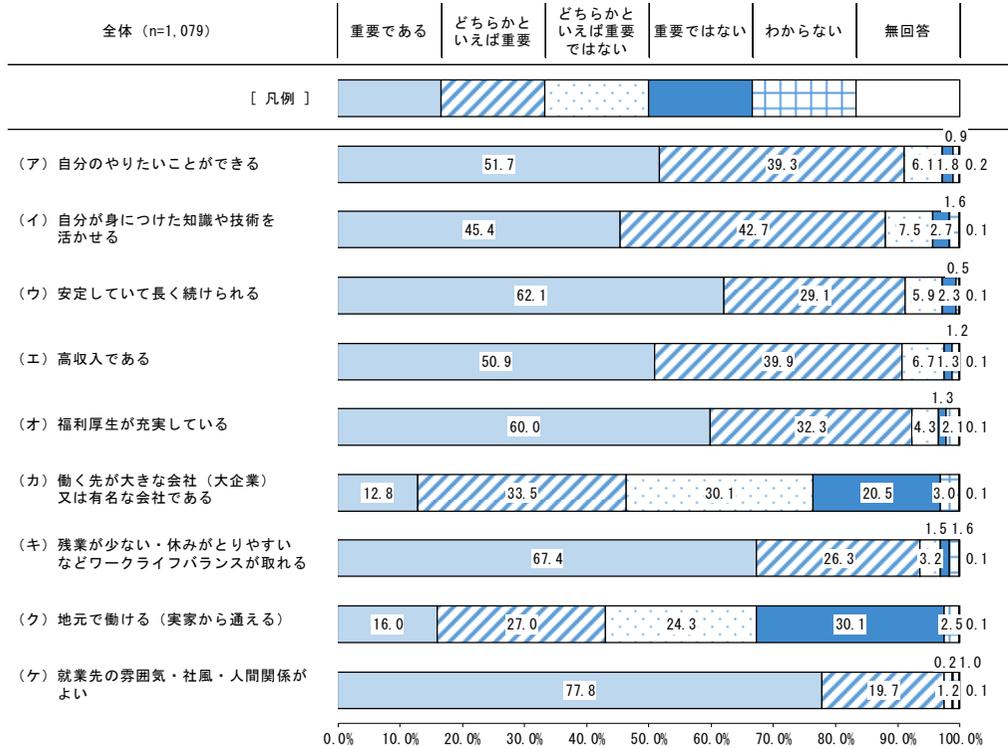


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(9) 若者に対する調査（生活状況等）

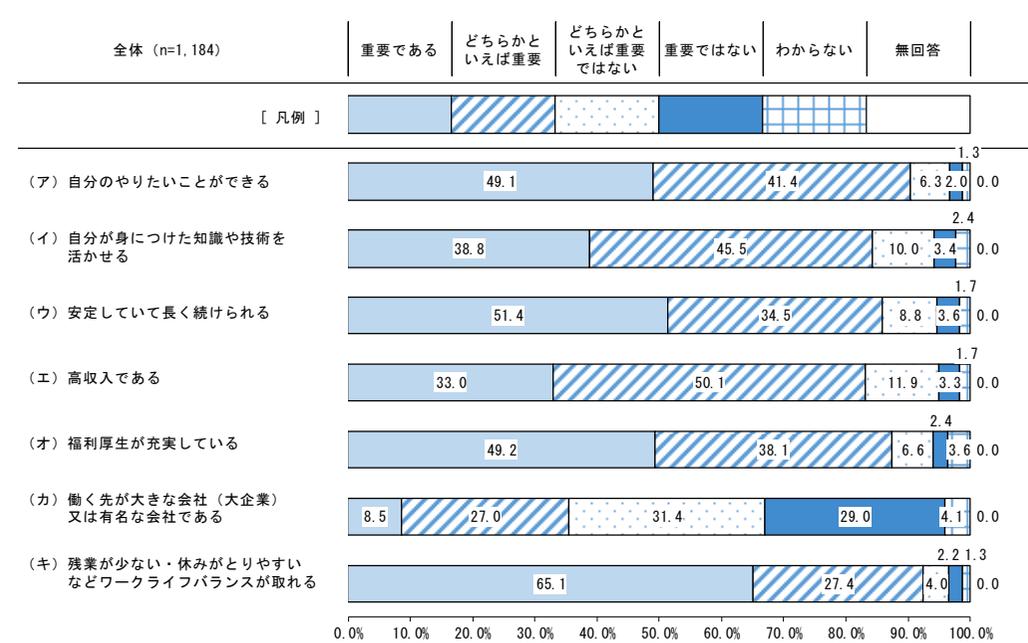
若者

＜今回調査＞【図表 5-36 仕事を選ぶ際に重要だと思うこと】



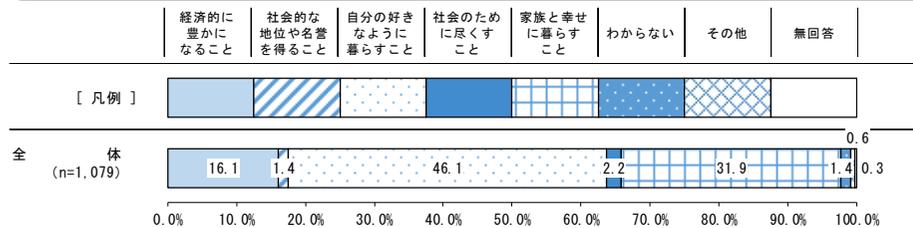
若者

＜前回調査＞【図表 5-37 仕事を選ぶ際に重要だと思うこと】



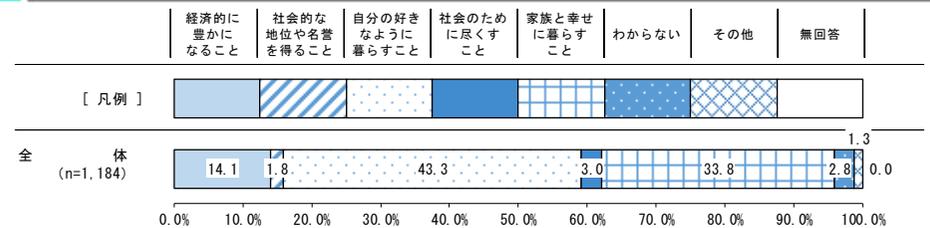
若者

＜今回調査＞【図表 5-68 あなたの考えにもっとも近い、理想とする生き方】



若者

＜前回調査＞【図表 5-69 あなたの考えにもっとも近い、理想とする生き方】



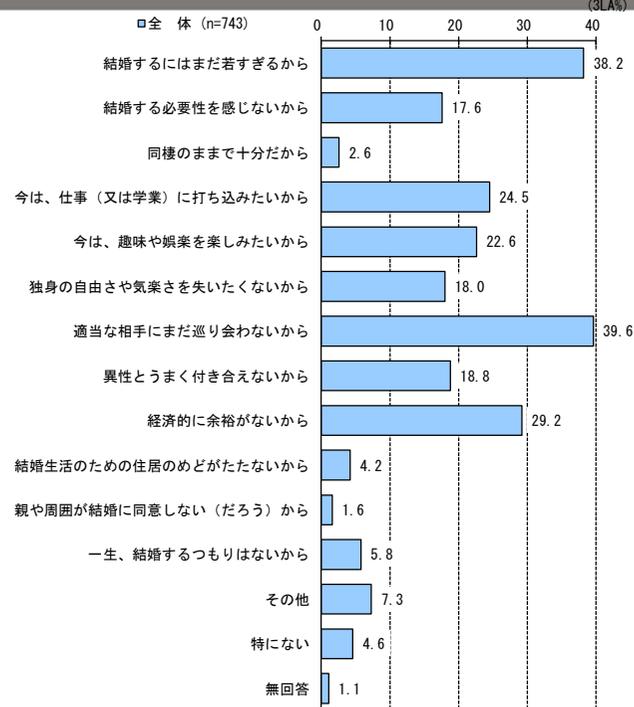
令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(10) 若者に対する調査（結婚・出産についての考え）※前回調査項目なし

- 結婚していない理由としては、「適当な相手にまだ巡り会わないから」、「結婚するにはまだ若すぎるから」、「経済的に余裕がないから」の順となっている。
- 『理想的な子どもの数』は「2人」が54.7%、「3人」が22.0%、「1人」が14.2%である一方、『現実的に今後持つつもりの子どもの数』は、「2人」が41.8%、「1人」が32.9%、「3人」が5.7%であり、乖離が生じている。
- 『今後持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由』は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が77.1%、「働きながら子育てができる職場環境がないから」が34.0%、「保育サービスが整っていないから」が26.0%となっている。

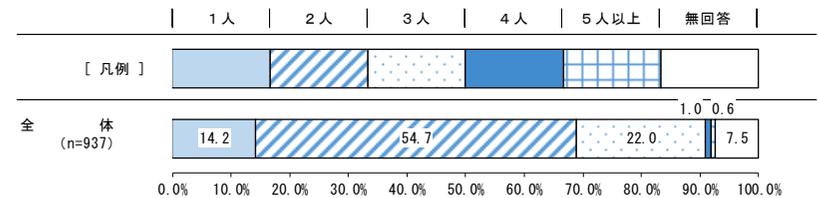
若者

＜今回調査＞【図表 5-148 現在結婚していない理由（3つまで回答）】



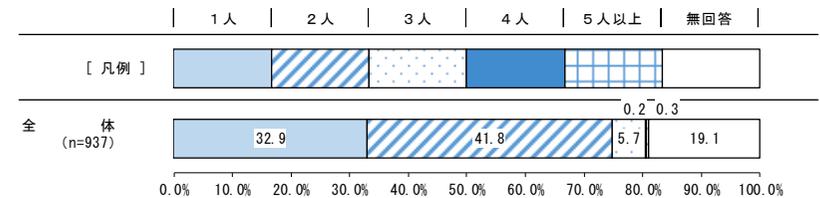
若者

＜今回調査＞【図表 5-150 理想的な子どもの数】



若者

＜今回調査＞【図表 5-154 現実的に今後持つつもりの子どもの数】

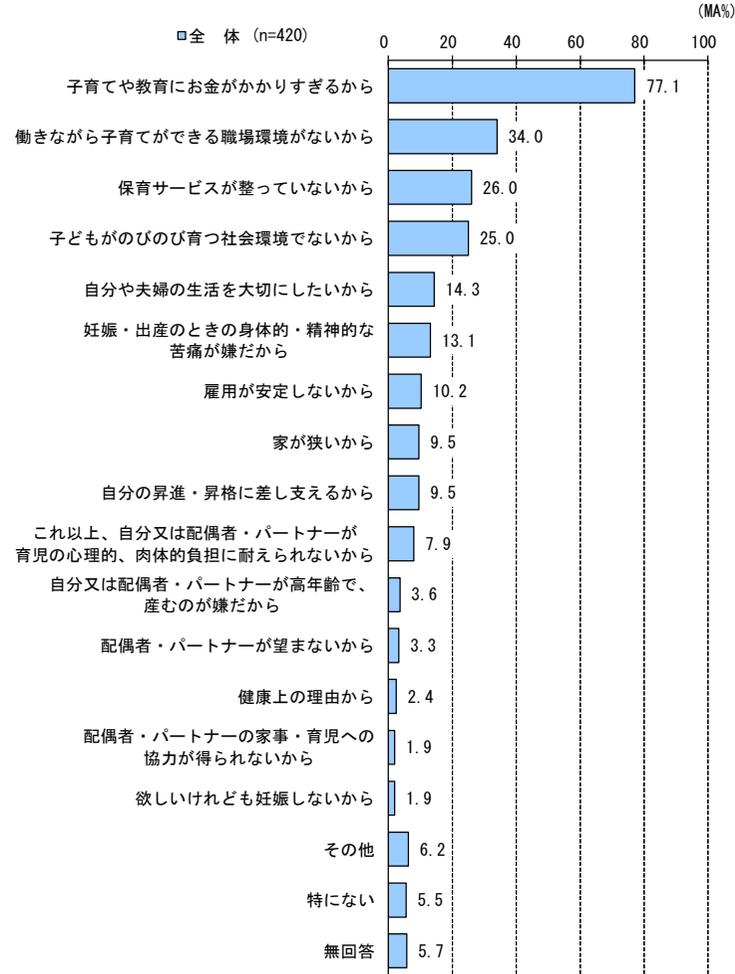


令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

(10) 若者に対する調査（結婚・出産についての考え）※前回調査項目なし

若者

<今回調査> 【図表 5-159 今後持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由（複数回答）】



令和6年度川崎市子ども・若者調査結果について

3 調査結果から見てきたこと

- ① 正規社員等の母親が増加するなど、共働き家庭が増加しており、「自分または配偶者の仕事と子育ての両立に関すること」といった「生活に関する心配ごと・悩み」を持つ保護者が多い。また、学齢期の子どもの放課後の過ごし方が変化している。
- ② 「子どもの生活習慣や発達、体調に関すること」への不安等を持つ家庭は4年前の前回調査より増加しているほか、未就学児では「子育て環境に関すること」、学齢期では「子どもとの関わり方に関すること」「学習・進学・受験に関すること」「友人関係に関すること」へ不安感を持つ保護者も多い。
- ③ 前回調査と比較して、世帯の所得の3分類のうち、高い方の「分類Ⅲ」の割合が、いずれの年齢でも増加しているものの、どの世代の保護者においても、子育ての費用に関することを不安に感じている割合が増加している。
- ④ 小学校低学年のうちから「学習・進学・受験に関すること」への不安等を持つ家庭が増加しており、子どもの将来については子どもの希望を尊重したいという保護者が増加し、学歴については「大学またはそれ以上」を考える保護者が増加している。
- ⑤ また、「子どもが犯罪に巻き込まれることの心配」や「急病時などに子どもを安心して預けることができる人や場所がないこと」など、安全・安心に子どもを育てることについても多くの保護者が不安感を持っている。
- ⑥ 児童生徒・若者の一定割合がヤングケアラーである可能性があり、家事やきょうだいの世話等を担っている状況が見られるが、その状況について「誰にも話していない」とする回答が多く、当事者からは、「勉強を教えてほしい」「自分のことについて話を聞いてほしい」「進路や就職など将来の相談にのってほしい」などのニーズが見られる。
- ⑦ 一方で、周りからしてもらいたいことについて「特にない」という回答や、世話や家事等をしていて感じる事として「やりがいを感じている」という回答も少なからず見られ、実際には支援が必要な状態であっても自分からサポートを求めることが難しいことも想定され、ヤングケアラーの相談先などを分かりやすく児童生徒・若者に伝えていくことと同時に、存在に気づき、支援につなげるための関係機関の連携が重要である。
- ⑧ 若者が理想とする人数の子どもを持つことをためらう要因としては、子育てに関する経済的な不安感が最も多く、更に、働きながら子育てができる職場環境や保育サービスの充実についても求められている。
- ⑨ 子育て支援の情報提供の状況については、十分とは言えず、「かわさき子育てアプリ」の更なる充実など、出産・子育てに安心感や見通しを持てるよう、ライフステージに応じた支援策等の効果的な情報発信が必要である。